

令和元年度長岡市介護予防・
日常生活圏域ニーズ調査

(報告書概要版)

令和2年3月

1. 調査の概要

1.1 調査目的

本調査は、長岡市の今後の介護予防のための施策の方向性や介護保険料を決めるために行ったものである。具体的には、令和2年度に作成する「第8期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の基礎資料を得るためのものである。

1.2 調査設計と回収結果

(1) 調査対象

長岡市内在住の65歳以上の方のうち、要支援1・2の認定を受けている方、事業対象者の方、および、介護保険の要介護認定を受けていない方である。

(2) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(3) 調査対象者数・配布数・回収率・拡大係数

(3-1) 圏域別にみた調査対象者数・配布数・回収率・拡大係数

調査対象者数は各圏域で異なるが、統計的に有意な結果を得たいとの考えから、配布数を決定した。

圏域別にみた調査対象者数・配布数・回収率・拡大係数

圏域	調査対象者数	配布数	回収数	回収率	拡大係数
1. 川東地区西	9,177	973	694	71.3%	13.22
2. 川東地区東	8,092	928	653	70.4%	12.39
3. 川東地区北	7,684	807	608	75.3%	12.64
4. 川東地区南・山古志	8,150	784	539	68.8%	15.12
5. 川西地区北・三島	5,254	693	517	74.6%	10.16
6. 川西地区南	10,490	905	628	69.4%	16.70
7. 中之島・与板	5,002	696	478	68.7%	10.46
8. 越路・小国	5,281	723	508	70.3%	10.40
9. 和島・寺泊	4,137	715	465	65.0%	8.90
10. 栃尾	6,192	804	489	60.8%	12.66
11. 川口	1,372	434	289	66.6%	4.75
不明・無回答	0	0	194	—	0.00
合計	70,831	8,462	6,062	71.6%	11.68
合計（前回調査）	66,228	8,360	6,554	78.4%	10.10

(3-2) 要介護（支援）別にみた調査対象者数・配布数・回収率・拡大係数

未認定者、事業対象者、要支援1、要支援2を区別せずに無作為にサンプリングを行うと、調査対象者のほとんどが未認定者となるので、事業対象者と要支援1、要支援2については全数を対象とし、未認定者は無作為抽出により対象者を決定した。

要介護（支援）別にみた調査対象者数・配布数・回収率・拡大係数

要介護（支援）	調査対象者数	配布数	回収数	回収率	拡大係数
1. 未認定者	67,363	5,017	3,721	74.2%	18.10
2. 事業対象者	577	575	126	21.9%	4.58
3. 要支援1	1,129	1,122	806	71.8%	1.40
4. 要支援2	1,762	1,748	1,080	61.8%	1.63
不明・無回答	0	0	329	—	0.00
合計	70,831	8,462	6,062	71.6%	11.68

(3-3) 圏域別・要介護（支援）別拡大係数

圏域別・要介護（支援）別では、正確なニーズを把握するために、あえてサンプル抽出数を無作為から乖離した形で調査を行ったので、集計に当たっては、圏域別・要介護（支援）別に拡大係数を計算し、調査対象者全数に合致するように拡大を行った。その拡大係数は以下の表のとおりである。

圏域別・要介護（支援）別拡大係数

	1. 認定を受けていない	2. 事業対象者	3. 要支援1	4. 要支援2	不明・無回答	合計
1. 川東地区西	22.07	8.00	1.40	1.80	0.00	13.22
2. 川東地区東	23.19	5.00	1.34	1.55	0.00	12.39
3. 川東地区北	20.12	5.44	1.32	1.60	0.00	12.64
4. 川東地区南・山古志	24.64	3.22	1.59	1.74	0.00	15.12
5. 川西地区北・三島	14.33	4.88	1.43	1.42	0.00	10.16
6. 川西地区南	28.98	4.73	1.51	1.62	0.00	16.70
7. 中之島・与板	14.69	6.86	1.34	1.52	0.00	10.46
8. 越路・小国	15.19	6.00	1.43	1.63	0.00	10.40
9. 和島・寺泊	12.40	5.06	1.37	1.75	0.00	8.90
10. 栃尾	18.86	2.91	1.82	2.06	0.00	12.66
11. 川口	5.45	0.00	0.88	1.73	0.00	4.75
不明・無回答	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	18.10	4.58	1.40	1.63	0.00	11.68

1.3 調査項目

調査項目は以下のとおりである。なお、各項目には1～16の設問が設定されている。また、調査対象者と調査記入者が異なる場合も、調査対象者を回答者と表記してある。

調査記入者

回答者の属性 年齢・性別・お住いの地域・要介護（支援）度

問1 家族や生活状況について

問2 からだを動かすことについて

問3 食べることについて

問4 毎日の生活について

問5 地域での活動について

問6 たすけあいについて

問7 健康について

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

問9 機器の操作、情報収集、日々の活動について

問10 今後の暮らしについて

問11 制度・事業について

1.4 調査実施主体

長岡市福祉保健部

1.5 集計分析機関

長岡大学地域連携研究センター

長岡大学経済経営学部教授 鯉江康正

長岡大学地域連携研究センター 小田原弘貴

1.6 集計結果の見方

- ① 集計結果はすべて拡大係数をかけ、調査対象数ベースの数値である。
- ② 回答者数は拡大後の数値であるため、各項目の合計が四捨五入の関係で合計と一致しないことがある。
- ③ 回答者数に対する各選択肢の比率（%）値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値は100.0%にならないことがある。
- ④ 各設問の対象者数を（n = ）のかたちで示してある。

2. 回答者の属性

2.1 圏域別にみた調査票の記入者

記入者の割合は、全域では「1. あて名のご本人が記入」が82.7%となっており、「2. ご家族が記入」は9.0%である。前回調査（平成29年度調査）と比較すると、「1. あて名のご本人が記入」が0.8%ポイント低下しており、「2. ご家族が記入」が0.6%ポイント上昇している。

記入者 調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）

	対象者数 (n=)	1. あて 名のご本 人が記入	2. ご家 族が記入	3. その 他	不明・ 無回答	合 計	
圏 域	1. 川東地区西	9,177	83.9%	7.6%	0.1%	8.4%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	86.2%	8.0%	0.0%	5.8%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	81.0%	9.0%	0.0%	9.9%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	83.6%	7.4%	0.0%	9.0%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	83.6%	9.6%	0.1%	6.8%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	80.5%	10.0%	0.0%	9.4%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	82.8%	10.4%	0.0%	6.8%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	86.7%	7.4%	0.1%	5.9%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	76.7%	12.6%	0.6%	10.1%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	81.2%	10.9%	0.0%	7.8%	100.0%
	11. 川口	1,372	82.0%	7.3%	0.0%	10.7%	100.0%
長岡市全域	70,831	82.7%	9.0%	0.1%	8.2%	100.0%	
長岡市全域（前回調査）	66,228	83.6%	8.4%	0.2%	7.9%	100.0%	

（注）表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。

また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

2.2 圏域別にみた年齢、性別、要介護（支援）度

(1) 圏域別年齢

年齢割合は、全域では「70～74歳」が25.8%と最も高く、「65～69歳」が23.5%、「75～79歳」が20.0%、80～84歳が16.1%と続いている。また、「前期高齢者」は49.3%で、「後期高齢者」は50.5%である。前回調査と比較すると、65～69歳の割合が9.0%ポイント低下しているのに対して、70～99歳の年齢階層でその割合が高まっている。

圏域別にみると全域の傾向と大きな違いはないが、川東地区北、川東地区南・山古志、川西地区北・三島、川西地区南、川口では「前期高齢者」の割合が高く、川東地区西、川東地区東、中之島・与板、越路・小国、和島・寺泊、栃尾では「後期高齢者」の割合が高くなっている。

基本属性 年齢・性別・お住いの地域・要介護（支援）度

(1) 年齢を教えてください（1つに○）

		対象者数 (n=)	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳
圏 域	1. 川東地区西	9,177	20.9%	22.8%	18.4%	19.0%	11.6%	5.9%
	2. 川東地区東	8,092	19.6%	28.4%	21.8%	15.5%	10.1%	3.6%
	3. 川東地区北	7,684	23.8%	27.6%	19.1%	16.0%	9.7%	3.7%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	25.6%	25.2%	22.1%	13.4%	10.3%	2.4%
	5. 川西地区北・三島	5,254	27.8%	28.3%	16.4%	16.1%	7.2%	3.3%
	6. 川西地区南	10,490	23.4%	29.1%	19.4%	17.3%	6.9%	2.9%
	7. 中之島・与板	5,002	26.3%	21.3%	22.9%	15.5%	8.6%	4.6%
	8. 越路・小国	5,281	22.5%	26.0%	18.5%	14.9%	12.1%	5.7%
	9. 和島・寺泊	4,137	19.5%	24.9%	22.6%	17.9%	9.7%	4.3%
	10. 栃尾	6,192	26.2%	22.8%	19.6%	15.0%	12.0%	3.7%
	11. 川口	1,372	28.8%	23.1%	20.0%	12.0%	11.0%	4.7%
長岡市全域		70,831	23.5%	25.8%	20.0%	16.1%	9.8%	4.0%
長岡市全域（前回調査）		66,228	32.6%	20.8%	19.6%	16.0%	7.6%	2.7%

		95～ 99歳	100 歳～	前期 高齢者	後期 高齢者	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	1.1%	0.0%	43.7%	56.1%	0.2%	100.0%
	2. 川東地区東	1.0%	0.0%	48.0%	52.0%	0.0%	100.0%
	3. 川東地区北	0.1%	0.0%	51.3%	48.7%	0.0%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	1.1%	0.0%	50.7%	49.3%	0.0%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	1.0%	0.0%	56.0%	44.0%	0.0%	100.0%
	6. 川西地区南	0.7%	0.0%	52.5%	47.2%	0.3%	100.0%
	7. 中之島・与板	0.7%	0.0%	47.6%	52.4%	0.0%	100.0%
	8. 越路・小国	0.3%	0.0%	48.5%	51.5%	0.0%	100.0%
	9. 和島・寺泊	0.4%	0.0%	44.4%	55.0%	0.6%	100.0%
	10. 栃尾	0.6%	0.0%	49.0%	50.9%	0.1%	100.0%
	11. 川口	0.5%	0.0%	51.9%	48.1%	0.0%	100.0%
長岡市全域		0.7%	0.0%	49.3%	50.5%	0.1%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		0.5%	0.0%	53.3%	46.4%	0.2%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(2) 圏域別性別

性別割合は、全域では「1. 男性」が 42.1%（前回調査では 44.7%）、「2. 女性」が 56.2%（同、53.7%）であった。

圏域別にみると、全圏域で「2. 女性」が「1. 男性」よりもその割合が高い。全域と比較すると、川東地区西、川東地区東、川東地区北、川東地区南・山古志では相対的に「2. 女性」の割合が高く、川西地区北・三島、川西地区南、中之島・与板、越路・小国、和島・寺泊、栃尾、川口では相対的に「1. 男性」の割合が高くなっている。

基本属性 年齢・性別・お住いの地域・要介護（支援）度
 (2) 性別を教えてください（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. 男性	2. 女性	不明・ 無回答	合計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	38.3%	59.1%	2.6%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	40.7%	58.0%	1.3%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	39.7%	59.0%	1.4%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	39.3%	59.4%	1.3%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	43.2%	55.0%	1.7%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	42.2%	55.7%	2.1%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	46.5%	51.6%	1.9%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	48.3%	50.7%	1.0%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	45.3%	52.4%	2.3%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	44.1%	54.6%	1.3%	100.0%
	11. 川口	1,372	43.6%	54.3%	2.1%	100.0%
長岡市 全域		70,831	42.1%	56.2%	1.7%	100.0%
長岡市 全域（前回調査）		66,228	44.7%	53.7%	1.6%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
 また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(3) 圏域別要介護（支援）度

要介護（支援）度の割合は、全域では「1. 認定を受けていない」方が 95.1%となっており、「2. 事業対象者」の方は 0.8%、「3. 要支援1」の方は 1.6%、「4. 要支援2」の方は 2.5%である。要支援1と要支援2を合わせると 4.1%である。

圏域別にみると大きな違いはないが、川東地区北、川東地区南・山古志、川西地区北・三島、川西地区南、中之島・与板、川口では「1. 認定を受けていない」方の割合が相対的に高くなっている。これに対して、川東地区西、川東地区東、越路・小国、和島・寺泊、栃尾では「事業対象者＋要支援」の方の割合が相対的に高くなっている。

基本属性 年齢・性別・お住いの地域・要介護（支援）度
 (4) 要介護（支援）度を教えてください（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. 認 定を受 けてい ない	2. 事 業対 象者	3. 要 支 援1	4. 要 支 援2	事業対象 者＋要支 援	合計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	94.5%	0.9%	1.8%	2.8%	5.5%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	94.3%	0.9%	1.8%	3.1%	5.7%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	95.6%	0.6%	1.6%	2.2%	4.4%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	96.1%	0.4%	1.6%	1.9%	3.9%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	95.5%	0.7%	1.5%	2.3%	4.5%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	95.9%	0.5%	1.5%	2.1%	4.1%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	95.1%	1.0%	1.4%	2.5%	4.9%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	94.9%	0.7%	1.5%	2.9%	5.1%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	93.5%	2.0%	1.8%	2.7%	6.5%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	94.4%	1.5%	1.5%	2.6%	5.6%	100.0%
	11. 川口	1,372	96.2%	0.0%	1.0%	2.8%	3.8%	100.0%
長岡市 全域		70,831	95.1%	0.8%	1.6%	2.5%	4.9%	100.0%
長岡市 全域（前回調査）		66,228	96.3%	—	1.5%	2.2%	—	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
 また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

3. 調査結果全体の要約

3.1 老研式活動能力指標による長岡市と全国の活動能力比較および圏域別活動能力比較

(1) 老研式活動能力指標

毎日の生活について、以下の設問によって、「手段的自立」「知的能動性」「社会的役割」能力を把握した。能力点数は、回答が「はい」および「できるし、している」「できるけどしていない」の場合には1点、「いいえ」および「できない」の場合には0点とした各設問の合計点数である。

問4 毎日の生活について

手段的自立	(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)
	(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか
	(4) 自分で食事の用意をしていますか
	(5) 自分で請求書の支払いをしていますか
	(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか
知的能動性	(7) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか
	(8) 新聞を読んでいますか
	(9) 本や雑誌を読んでいますか
	(10) 健康についての記事や番組に関心がありますか
社会的役割	(11) 友人の家を訪ねていますか
	(12) 家族や友人の相談にのっていますか
	(13) 病人を見舞うことができますか
	(14) 若い人に自分から話しかけることができますか

(注) アンケートでは、「(1)物忘れ」についても伺っているが、長岡市独自の設問のため、この指標では対象外である。

(2) 長岡市と全国の老研式活動能力指標による性別活動能力比較

長岡市と全国の老研式活動能力指標による平均点数をみると、全国の10.8に対して長岡市は11.1で0.3ポイント上回っている。

性別に活動能力を比較すると、男性では全国の平均点数が11.0であるのに対して長岡市の平均点数は10.9と0.1ポイント下回っている。また、女性では全国の平均点数が10.6であるのに対して長岡市の平均点数は11.3と0.7ポイント上回っている。

なお、統計学的に、「平均±標準偏差」の点数範囲には全体の68.3%の回答者が、「平均±2×標準偏差」の点数範囲には全体の95.5%の回答者が含まれることが知られている。

老研式活動能力指標による長岡市と全国の比較(性別)

	長岡市		全国	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差
男性	10.9	2.4	11.0	3.0
女性	11.3	2.4	10.6	3.1
合計	11.1	2.4	10.8	3.0

(注) 表中網掛けは、平均点数を長岡市と全国で比較して高い方に付けてある。

(3) 長岡市と全国の老研式活動能力指標による年齢別活動能力比較

年齢別に比較すると、65～69歳では長岡市の方が0.3ポイント低くなっているが、70歳以上では長岡市の方が平均点数は上回っている。

老研式活動能力指標による長岡市と全国の比較（年齢別）

	長岡市		全国	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差
65～69歳	11.5	1.7	11.8	2.0
70～74歳	11.6	1.9	11.0	2.6
75～79歳	11.3	2.0	10.5	3.0
80歳～	10.2	3.1	8.0	4.2
合計	11.1	2.4	10.8	3.0

(注) 表中網掛けは、平均点数を長岡市と全国で比較して高い方に付けてある。

(4) 老研式活動能力指標による長岡市の圏域別活動能力比較

「全カテゴリー合計点数」の平均は11.1（前回調査では11.3）であった。点数が最も高いのは川口の11.3で、中之島・与板の11.2、越路・小国の11.2が続いている。

活動能力別の点数を全域でみると、「手段的自立」が4.7（前回調査では4.7）、「知的能動性」が3.4（同、3.5）、「社会的役割」が3.0（同、3.1）であった。

老研式活動能力指標の圏域別比較（合計）

	対象者数 (n=)	手段的自立			知的能動性			
		有効回答数	平均	標準偏差	有効回答数	平均	標準偏差	
圏域	1. 川東地区西	9,177	8,909	4.7	0.9	8,595	3.4	0.9
	2. 川東地区東	8,092	7,710	4.7	0.8	7,728	3.5	0.9
	3. 川東地区北	7,684	7,415	4.7	1.0	7,264	3.4	0.9
	4. 川東地区南・山古志	8,150	7,966	4.7	0.9	7,790	3.4	0.9
	5. 川西地区北・三島	5,254	5,092	4.6	1.0	5,045	3.4	0.9
	6. 川西地区南	10,490	10,133	4.6	1.0	9,755	3.4	0.9
	7. 中之島・与板	5,002	4,872	4.7	0.9	4,892	3.3	1.0
	8. 越路・小国	5,281	5,054	4.6	1.0	4,919	3.5	0.9
	9. 和島・寺泊	4,137	3,965	4.5	1.2	3,926	3.3	1.0
	10. 栃尾	6,192	5,929	4.7	0.9	5,903	3.3	1.0
	11. 川口	1,372	1,312	4.7	0.9	1,300	3.5	0.8
長岡市全域	70,831	68,358	4.7	0.9	67,118	3.4	0.9	
長岡市全域（前回調査）	66,228	64,009	4.7	0.9	64,001	3.5	0.9	

老研式活動能力指標の圏域別比較（合計）

	有効回答数	社会的役割			全カテゴリー合計点数		
		平均	標準偏差	有効回答数	平均	標準偏差	
圏域	1. 川東地区西	8,553	2.9	1.3	8,226	11.0	2.4
	2. 川東地区東	7,827	2.9	1.1	7,421	11.2	2.1
	3. 川東地区北	7,300	3.0	1.1	6,928	11.1	2.3
	4. 川東地区南・山古志	7,720	3.0	1.1	7,558	11.1	2.2
	5. 川西地区北・三島	4,986	3.1	1.2	4,818	11.2	2.4
	6. 川西地区南	9,815	3.0	1.2	9,400	11.0	2.5
	7. 中之島・与板	4,832	3.2	1.1	4,687	11.2	2.3
	8. 越路・小国	5,020	3.2	1.1	4,750	11.2	2.4
	9. 和島・寺泊	3,916	3.0	1.2	3,710	10.8	2.9
	10. 栃尾	5,870	3.0	1.1	5,618	11.1	2.5
	11. 川口	1,288	3.1	1.1	1,233	11.3	2.1
長岡市全域	67,127	3.0	1.2	64,348	11.1	2.4	
長岡市全域（前回調査）	64,323	3.1	1.1	61,741	11.3	2.3	

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

3.2 J S T 版活動能力指標による長岡市と全国の活動能力比較および圏域別活動能力比較

(1) J S T 版活動能力指標

機器の操作、情報収集、日々の活動について、以下の設問によって、「新機器利用」「情報収集」「生活マネジメント」「社会参加」能力を把握した。能力点数は、回答が「はい」の場合には1点、「いいえ」の場合には0点とした各設問の合計点数である。

問9 機器の操作、情報収集、日々の活動について

新機器利用	(1) 携帯電話を使うことができますか
	(2) A T Mを使うことができますか
	(3) ビデオやDVDプレイヤーの操作ができますか
	(4) 携帯電話やパソコンのメールができますか
情報収集	(5) 外国のニュースや出来事に関心がありますか
	(6) 健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか
	(7) 美術品、映画、音楽を鑑賞することができますか
	(8) 教育・教養番組を視聴していますか
生活マネジメント	(9) 詐欺、ひったくり、空き巣等の被害にあわないように対策をしていますか
	(10) 生活の中でちょっとした工夫をすることができますか
	(11) 病人の看病ができますか
	(12) 孫や家族、知人の世話をしていますか
社会参加	(13) 地域のお祭りや行事などに参加していますか
	(14) 町内会・自治会で活動していますか
	(15) 自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか
	(16) 奉仕活動やボランティア活動をしていますか

(2) 長岡市と全国のJ S T 版活動能力指標による年齢別活動能力比較

長岡市と全国のJ S T 版活動能力を比較すると、合計では全国の平均点数が9.7であるのに対して長岡市の平均点数は9.9と、長岡市の方が0.1ポイント上回っている。年齢別に比較すると、「65～74歳」では全国、長岡市ともに10.8であるが、ほんのわずかではあるが長岡市の方が高い。「75～84歳」では全国が8.2であるのに対して長岡市は8.5と、長岡市の方が0.3ポイント上回っている。

個別能力をみると、「新機器利用」では「65～74歳」「75～84歳」とともに長岡市の方が高い。「情報収集」「社会参加」では「65～74歳」「75～84歳」とともに長岡市の方が低い。「生活マネジメント」では、「65～74歳」は長岡市の方が低いものの、「75～84歳」は長岡市の方が高くなっている。

J S T 版活動能力指標による長岡市と全国の比較（年齢別）

		長岡市		全 国					
		平均	標準偏差	加重平均	男 性		女 性		
					平均	標準偏差	平均	標準偏差	
新機器利用	65～74歳	3.4	1.0	2.7	2.9	1.3	2.6	1.3	
	75～84歳	2.2	1.4	1.7	2.0	1.5	1.4	1.4	
	合計	2.9	1.3	2.3	—	—	—	—	
情報収集	65～74歳	2.9	1.2	3.1	3.1	1.2	3.1	1.2	
	75～84歳	2.5	1.3	2.6	2.8	1.3	2.5	1.5	
	合計	2.8	1.3	2.9	—	—	—	—	
生活マネジメント	65～74歳	2.8	1.1	3.1	3.0	1.2	3.1	1.1	
	75～84歳	2.6	1.2	2.5	2.5	1.3	2.5	1.3	
	合計	2.7	1.1	2.8	—	—	—	—	
社会参加	65～74歳	1.6	1.4	1.9	2.0	1.6	1.8	1.5	
	75～84歳	1.1	1.3	1.4	1.6	1.6	1.2	1.4	
	合計	1.4	1.4	1.7	—	—	—	—	
J S T 版活動能力指標合計	65～74歳	10.8	3.2	10.8	11.0	3.9	10.6	3.8	
	75～84歳	8.5	3.7	8.2	8.9	4.4	7.7	4.2	
	合計	9.9	3.6	9.7	—	—	—	—	

(注1) 加重平均はJ S Tの年齢別男女別全国標準値とサンプル数から求めた値である。

(注2) 表中網掛けは、平均点数を長岡市と全国で比較して高い方に付けてある。

(3) JST版活動能力指標による長岡市の圏域別活動能力比較

全カテゴリ合計点数の平均は 9.3（前回調査では 9.4）であった。点数が最も高いのは、川口の 9.8 で、川東地区東の 9.6、越路・小国の 9.6 が続いている。

活動能力別の点数を全域で見ると、「新機器利用」が 2.6（前回調査では 2.4）、「情報収集」が 2.7（同、2.8）、「生活マネジメント」が 2.6（同、2.7）、「社会参加」が 1.3（同、1.4）であった。

圏域別にみると、川東地区東では「情報収集」が 3.0 と高いのに対して、川口では「社会参加」が 1.8 と高くなっている。また、和島・寺泊では「新機器利用」が 2.2、「生活マネジメント」が 2.4 と低く、結果として「合計」も 8.7 と低くなっている。

JST版活動能力指標の圏域別比較

	対象者数 (n=)	新機器利用			情報収集			
		有効回答 数	平均	標準偏差	有効回答 数	平均	標準偏差	
圏 域	1. 川東地区西	9,177	8,631	2.7	1.4	8,572	2.8	1.3
	2. 川東地区東	8,092	7,603	2.9	1.4	7,501	3.0	1.2
	3. 川東地区北	7,684	7,309	2.7	1.4	7,201	2.6	1.3
	4. 川東地区南・山古志	8,150	7,788	2.6	1.4	7,654	2.6	1.3
	5. 川西地区北・三島	5,254	4,906	2.7	1.4	4,718	2.7	1.3
	6. 川西地区南	10,490	10,021	2.7	1.4	9,818	2.6	1.4
	7. 中之島・与板	5,002	4,813	2.5	1.4	4,721	2.5	1.3
	8. 越路・小国	5,281	4,873	2.6	1.5	4,828	2.6	1.3
	9. 和島・寺泊	4,137	3,852	2.2	1.5	3,834	2.4	1.4
	10. 栃尾	6,192	5,939	2.5	1.5	5,783	2.5	1.4
	11. 川口	1,372	1,294	2.7	1.4	1,272	2.4	1.3
長岡市全域	70,831	67,029	2.6	1.4	65,901	2.7	1.3	
長岡市全域（前回調査）	66,228	62,474	2.4	1.5	58,805	2.8	1.3	

	生活マネジメント			社会参加			全カテゴリ合計点数			
	有効回答 数	平均	標準偏差	有効回答 数	平均	標準偏差	有効回答 数	平均	標準偏差	
圏 域	1. 川東地区西	8,492	2.6	1.3	8,754	1.2	1.3	7,864	9.4	3.8
	2. 川東地区東	7,496	2.6	1.2	7,544	1.0	1.3	6,952	9.6	3.6
	3. 川東地区北	7,188	2.6	1.2	7,482	1.1	1.3	6,762	9.2	3.8
	4. 川東地区南・山古志	7,531	2.6	1.2	7,915	1.3	1.4	7,068	9.2	3.9
	5. 川西地区北・三島	4,780	2.7	1.2	4,955	1.4	1.4	4,447	9.5	3.9
	6. 川西地区南	9,821	2.6	1.2	9,998	1.2	1.3	9,207	9.2	4.0
	7. 中之島・与板	4,619	2.6	1.2	4,819	1.4	1.4	4,383	9.0	3.9
	8. 越路・小国	4,835	2.6	1.2	4,965	1.7	1.4	4,504	9.6	3.9
	9. 和島・寺泊	3,863	2.4	1.2	3,956	1.5	1.4	3,503	8.7	4.3
	10. 栃尾	5,696	2.6	1.2	5,896	1.2	1.4	5,506	8.8	4.0
	11. 川口	1,288	2.7	1.2	1,327	1.8	1.5	1,167	9.8	4.0
長岡市全域	65,608	2.6	1.2	67,610	1.3	1.4	61,361	9.3	3.9	
長岡市全域（前回調査）	60,787	2.7	1.2	62,426	1.4	1.4	55,138	9.4	3.9	

（注）表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4. 調査の個別結果の要約

本章の項番は、各節の問番号内での設問番号であり、(1)、(2)、(3)・・・のように連続値ではない。

4.1 「問1 あなたのご家族や生活状況について」

(1) 家族構成を教えてください（1つに○）

回答者の家族構成は、長岡市全域では最も割合の高かった回答は「2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の32.5%（前回調査では31.6%）で、約3分の1となっている。また、「5. その他(孫を含む3世代はここに含まれる)」は23.6%（同、25.3%）、「4. 息子・娘との2世代」は23.6%（同、24.3%）で、約4分の1となっている。

圏域別にみると、いくつかの圏域で特徴的なところがある。川東地区西では「1. 1人暮らし」の割合が24.9%と高く、川東地区東では「2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が39.9%と高く、川西地区北・三島では「3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」の割合が5.5%と高く、越路・小国では「4. 息子・娘との2世代」の割合が19.5%と低くなっている。

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください（1つに○）

	対象者数 (n=)	1. 1人 暮らし	2. 夫婦 2人暮らし (配偶者65歳以上)	3. 夫婦 2人暮らし (配偶者64歳以下)	4. 息子・娘と の2世代	5. その 他	不明・ 無回答	合 計	
圏 域	1. 川東地区西	9,177	24.9%	31.9%	2.5%	22.9%	17.1%	0.7%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	18.3%	39.9%	3.7%	20.1%	16.7%	1.4%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	12.2%	36.7%	3.5%	24.9%	19.6%	3.1%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	14.6%	28.0%	3.1%	26.6%	26.9%	0.8%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	10.3%	31.3%	5.5%	24.0%	27.0%	2.0%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	16.2%	34.3%	4.0%	23.6%	19.6%	2.4%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	7.6%	25.0%	2.5%	25.5%	36.4%	3.1%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	11.8%	33.8%	4.0%	19.5%	28.7%	2.2%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	10.9%	26.0%	2.4%	21.5%	36.0%	3.2%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	13.3%	32.9%	2.8%	26.2%	22.9%	1.9%	100.0%
	11. 川口	1,372	11.1%	27.7%	3.3%	25.4%	27.1%	5.3%	100.0%
長岡市全域	70,831	14.9%	32.5%	3.4%	23.6%	23.6%	2.0%	100.0%	
長岡市全域(前回調査)	66,228	12.3%	31.6%	3.9%	24.3%	25.3%	2.6%	100.0%	

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。

また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）

回答者の経済的暮らし状況は、長岡市全域では、「1. 大変苦しい」が6.6%（前回調査では7.7%）、「2. やや苦しい」が24.5%（同、23.9%）で、両者を合わせると31.1%（同、31.6%）となっている。「3. ふつう」は60.4%（同、60.4%）である。「4. ややゆとりがある」が6.2%（同、5.4%）、「5. 大変ゆとりがある」が0.8%（同、1.1%）で、両者を合わせると7.1%（同、6.5%）であり、ゆとりがある人は前回調査よりも割合は高まっているものの10%にも満たない。

圏域別にみると、栃尾では「1. 大変苦しい」の割合が9.5%、「2. やや苦しい」の割合が31.9%と、経済的に苦しい人の割合が高くなっている。川東地区西では「4. やや

ゆとりがある」の割合が9.5%と高く、中之島・与板では「5. 大変ゆとりがある」の割合が1.8%と高くなっている。

問1 あなたのご家族や生活状況について
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(1つに○)

		対象者数 (n=)	1. 大変 苦しい	2. やや 苦しい	3. ふつ う	4. やや ゆとりが ある	5. 大変 ゆとりが ある	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	6.5%	21.5%	60.6%	9.5%	0.8%	1.1%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	5.8%	23.4%	62.8%	5.6%	0.9%	1.6%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	6.5%	26.5%	58.7%	5.9%	0.3%	2.2%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	5.6%	25.4%	62.4%	5.4%	0.9%	0.4%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	6.1%	21.4%	63.1%	7.4%	0.8%	1.2%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	5.9%	25.5%	57.8%	7.9%	1.1%	1.8%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	8.3%	19.2%	62.4%	6.5%	1.8%	1.8%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	6.6%	27.3%	60.7%	3.1%	0.3%	1.9%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	6.3%	21.9%	64.2%	5.4%	0.6%	1.6%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	9.5%	31.9%	54.2%	3.1%	0.7%	0.6%	100.0%
	11. 川口	1,372	6.8%	22.8%	62.7%	5.8%	0.8%	1.2%	100.0%
長岡市全域		70,831	6.6%	24.5%	60.4%	6.2%	0.8%	1.4%	100.0%
長岡市全域(前回調査)		66,228	7.7%	23.9%	60.4%	5.4%	1.1%	1.5%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.2 「問2 からだを動かすことについて」

(5) 転倒に対する不安は大きいですか(1つに○)

回答者に転倒に対する不安を伺ったところ、長岡市全域では「1. とても不安である」人が14.1%(前回調査では13.9%)、「2. やや不安である」人が35.6%(同、33.2%)で、不安を持っている人は49.7%(同、47.1%)となっている。これに対して、「3. あまり不安でない」人が27.7%(同、28.3%)、「4. 不安でない」人が21.4%(同、23.1%)で、両者を合わせると49.0%(同、51.4%)となっている。

圏域別にみると、川東地区西では「1. とても不安である」の割合が16.4%と高く、川口では「2. やや不安である」の割合が29.7%と低いのに対して、「3. あまり不安でない」の割合が33.5%と高いことが特徴的である。

問2 からだを動かすことについて
(5) 転倒に対する不安は大きいですか(1つに○)

		対象者数 (n=)	1. とて も不安で ある	2. やや 不安であ る	3. あま り不安で ない	4. 不安 でない	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	16.4%	36.5%	28.4%	18.4%	0.4%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	13.6%	32.6%	29.0%	24.3%	0.7%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	15.4%	37.3%	24.8%	20.4%	2.0%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	12.2%	38.6%	26.8%	22.1%	0.3%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	12.1%	33.4%	28.1%	23.8%	2.6%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	13.9%	35.5%	24.3%	24.6%	1.8%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	13.3%	32.4%	31.8%	20.9%	1.5%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	14.3%	34.6%	29.4%	20.2%	1.5%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	13.8%	36.7%	29.0%	18.3%	2.2%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	14.6%	38.0%	28.0%	18.5%	0.9%	100.0%
	11. 川口	1,372	15.7%	29.7%	33.5%	18.7%	2.4%	100.0%
長岡市全域		70,831	14.1%	35.6%	27.7%	21.4%	1.3%	100.0%
長岡市全域(前回調査)		66,228	13.9%	33.2%	28.3%	23.1%	1.5%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(6) 週に1回以上は外出していますか（1つに○）

回答者に週における外出回数を伺ったところ、長岡市全域では「1. ほとんど外出しない」が5.7%（前回調査では5.8%）、「2. 週1回」が14.3%（同、13.8%）、「3. 週2～4回」が40.5%（同、40.4%）、「4. 週5回以上」が38.2%（同、38.6%）であった。

圏域別にみると、和島・寺泊が特徴的で「1. ほとんど外出しない」の割合が7.7%と高く、逆に「4. 週5回以上」の割合が28.4%と低くなっている。

問2 からだを動かすことについて

(6) 週に1回以上は外出していますか（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. ほと んど外 出 しない	2. 週1 回	3. 週2 ～4回	4. 週5 回以上	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	5.1%	13.8%	40.8%	39.6%	0.6%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	4.6%	11.1%	37.8%	45.5%	1.1%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	4.3%	16.9%	39.8%	36.8%	2.2%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	5.2%	14.6%	40.5%	39.7%	0.0%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	5.1%	15.1%	42.4%	36.0%	1.4%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	7.5%	12.1%	38.3%	40.1%	2.0%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	5.9%	13.8%	44.4%	34.4%	1.5%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	6.4%	18.7%	43.1%	30.3%	1.5%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	7.7%	18.8%	43.5%	28.4%	1.6%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	5.9%	12.0%	39.5%	40.9%	1.6%	100.0%
	11. 川口	1,372	4.0%	13.4%	39.0%	41.9%	1.6%	100.0%
長岡市全域		70,831	5.7%	14.3%	40.5%	38.2%	1.3%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		66,228	5.8%	13.8%	40.4%	38.6%	1.4%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。

また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(9) 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも○）

回答者に外出を控えている理由を伺ったところ、長岡市全域では「3. 足腰などの痛み」が最も多く 59.8%（前回調査では 57.9%）の人が選択している。以下、「9. 交通手段がない」の 21.7%（同、19.4%）、「4. トイレの心配（失禁など）」の 17.6%（同、16.9%）、「7. 外での楽しみがない」の 14.3%（同、13.7%）が続いている。

全圏域で「3. 足腰などの痛み」が1位である。選択率の2位・3位の組み合わせ（順不同）をみると、川東地区北、川西地区北・三島、川西地区南、和島・寺泊、栃尾、川口では「4. トイレの心配（失禁など）」「9. 交通手段がない」の、川東地区南・山古志、越路・小国では「8. 経済的に出られない」「9. 交通手段がない」の、川東地区東では「1. 病気」「7. 外での楽しみがない」の、中之島・与板では「7. 外での楽しみがない」「9. 交通手段がない」の、川東地区西では「9. 交通手段がない」「10. その他」になっている。

問2 からだを動かすことについて

(9) 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも○）

【問2（8）で「1. はい」（外出を控えている）の方のみ】

	対象者数 (n=)	1. 病気	2. 障害 (脳卒中 の後遺症 など)	3. 足腰 などの痛 み	4. トイ レの心配 (失禁な ど)	5. 耳の 障害(聞 こえの問 題など)
圏 域	1. 川東地区西	2,565	14.2%	3.5%	54.7%	16.4%
	2. 川東地区東	1,469	17.2%	8.8%	62.8%	13.5%
	3. 川東地区北	1,916	13.7%	1.1%	68.9%	23.6%
	4. 川東地区南・山古志	1,732	11.8%	3.9%	65.1%	12.7%
	5. 川西地区北・三島	1,242	6.1%	3.1%	55.8%	17.8%
	6. 川西地区南	2,342	15.6%	2.3%	64.8%	23.0%
	7. 中之島・与板	1,378	8.8%	4.7%	55.1%	14.5%
	8. 越路・小国	1,488	8.5%	1.6%	59.4%	16.8%
	9. 和島・寺泊	1,294	12.0%	2.0%	54.4%	17.2%
	10. 栃尾	1,414	13.7%	3.7%	51.4%	16.5%
	11. 川口	271	12.0%	8.9%	65.0%	21.6%
長岡市全域	17,111	12.6%	3.5%	59.8%	17.6%	
長岡市全域(前回調査)	15,359	15.8%	3.4%	57.9%	16.9%	

	6. 目の 障害	7. 外で の楽しみ がない	8. 経済 的に出ら れない	9. 交通 手段がな い	10. そ の他	不明・ 無回答
圏 域	1. 川東地区西	9.8%	14.2%	7.0%	19.1%	18.2%
	2. 川東地区東	11.9%	15.5%	6.1%	12.6%	10.6%
	3. 川東地区北	9.6%	17.2%	11.7%	23.9%	7.5%
	4. 川東地区南・山古志	11.3%	11.3%	14.2%	33.5%	8.3%
	5. 川西地区北・三島	5.5%	15.3%	15.0%	18.1%	11.2%
	6. 川西地区南	7.4%	14.9%	14.1%	19.2%	14.6%
	7. 中之島・与板	10.6%	19.7%	11.3%	26.3%	12.2%
	8. 越路・小国	7.2%	11.6%	19.1%	27.2%	13.5%
	9. 和島・寺泊	11.4%	8.5%	12.6%	20.4%	16.4%
	10. 栃尾	9.6%	15.0%	14.6%	18.1%	13.7%
	11. 川口	5.3%	11.0%	11.4%	16.0%	10.9%
長岡市全域	9.3%	14.3%	12.3%	21.7%	12.8%	
長岡市全域(前回調査)	7.8%	13.7%	11.4%	19.4%	10.8%	

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。

また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.3 「問3 食べることについて」

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（1つに○）

回答者の自分の歯の数と入れ歯の利用状況を伺ったところ、長岡市全域では、「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.4%（前回調査では15.5%）、「2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が29.7%（同、28.0%）、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が40.0%（同、40.9%）、「4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.4%（同、10.4%）であった。

圏域別にみると、いくつかの圏域で特徴的なところがある。川東地区東では「2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が35.2%と高く、川西地区南では「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が21.5%と高く、中之島・与板では「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が50.5%と高くなっている。また、越路・小国では「4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」の割合が5.2%と低いことが特徴的である。

問3 食べることについて

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	不明・無回答	合計
圏域	1. 川東地区西	9,177	16.2%	30.8%	37.5%	11.5%	4.1%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	15.7%	35.2%	35.5%	9.3%	4.3%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	14.8%	31.5%	40.6%	9.3%	3.8%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	15.8%	32.3%	37.8%	8.6%	5.5%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	17.6%	29.1%	43.3%	6.8%	3.2%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	21.5%	28.1%	36.8%	9.2%	4.4%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	14.1%	24.2%	50.5%	8.0%	3.1%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	15.1%	28.6%	45.0%	5.2%	6.1%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	12.1%	30.5%	38.1%	12.5%	6.8%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	17.3%	24.4%	41.4%	12.4%	4.5%	100.0%
	11. 川口	1,372	13.7%	23.7%	44.9%	12.4%	5.3%	100.0%
長岡市全域		70,831	16.4%	29.7%	40.0%	9.4%	4.5%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		66,228	15.5%	28.0%	40.9%	10.4%	5.2%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.4 「問4 毎日の生活について」

(1) 物忘れが多いと感じますか（1つに○）

回答者に物忘れが多いと感じるかどうかを伺ったところ、長岡市全域では「1. はい」が47.0%（前回調査では48.6%）で、「2. いいえ」が50.1%（同、48.7%）であった。

圏域別にみると大きな違いはないが、川西地区南の「1. はい」の割合が40.7%と低いことが特徴的である。

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. はい	2. いいえ	不明・ 無回答	合計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	47.5%	50.2%	2.2%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	43.6%	54.0%	2.5%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	50.9%	45.7%	3.4%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	47.8%	49.4%	2.8%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	42.6%	55.9%	1.4%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	40.7%	54.6%	4.7%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	46.8%	51.3%	1.9%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	50.9%	45.0%	4.1%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	48.9%	47.9%	3.2%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	53.9%	44.5%	1.6%	100.0%
	11. 川口	1,372	50.4%	46.5%	3.2%	100.0%
長岡市全域		70,831	47.0%	50.1%	2.9%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		66,228	48.6%	48.7%	2.8%	100.0%

（注）表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.5 「問5 地域での活動について」

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

(1-③) 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか (1つに○)

回答者に趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加しているかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 週4回以上」が1.5% (前回調査では1.4%)、「2. 週2～3回」が3.5% (同、4.1%)、「3. 週1回」が5.4% (同、5.3%)、「4. 月1回～3回」が9.7% (同、10.5%)、「5. 年に数回」が6.7% (同、7.1%)で、「6. 参加していない」が48.8% (同、46.7%)であった。なお、頻度にかかわらず「参加している合計」割合は26.8% (同、28.4%)で、「(内)月1回以上」の割合は20.1% (同、21.3%)である。

圏域別にみると、「参加している合計」の割合は、川東地区東が30.4%と高く、中之島・与板が21.6%と低くなっている。また、「(内)月1回以上」の割合は、川東地区東が25.1%と高くなっていることが特徴的である。

問5 地域での活動について

(1-③) 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか (1つに○)

		対象者数 (n=)	1. 週4 回以上	2. 週2 ～3回	3. 週1 回	4. 月1 回～3回	5. 年に 数回
圏 域	1. 川東地区西	9,177	1.8%	5.1%	5.4%	10.5%	6.4%
	2. 川東地区東	8,092	2.3%	5.0%	6.4%	11.4%	5.3%
	3. 川東地区北	7,684	1.3%	3.3%	6.6%	8.2%	7.9%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	1.2%	2.4%	6.4%	10.1%	7.3%
	5. 川西地区北・三島	5,254	1.1%	3.7%	5.1%	9.3%	5.5%
	6. 川西地区南	10,490	1.4%	4.3%	6.5%	10.4%	3.4%
	7. 中之島・与板	5,002	1.5%	2.9%	1.4%	9.3%	6.5%
	8. 越路・小国	5,281	1.2%	1.4%	3.0%	11.0%	9.1%
	9. 和島・寺泊	4,137	0.9%	0.9%	3.6%	10.0%	9.5%
	10. 栃尾	6,192	1.8%	3.7%	5.9%	6.6%	9.0%
	11. 川口	1,372	1.2%	1.7%	6.8%	4.9%	9.1%
長岡市全域		70,831	1.5%	3.5%	5.4%	9.7%	6.7%
長岡市全域 (前回調査)		66,228	1.4%	4.1%	5.3%	10.5%	7.1%

		6. 参加 してい ない	参加して いる合計	(内)月 1回以上	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	44.9%	29.2%	22.8%	26.0%	100.0%
	2. 川東地区東	47.2%	30.4%	25.1%	22.4%	100.0%
	3. 川東地区北	51.2%	27.2%	19.4%	21.6%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	49.0%	27.4%	20.1%	23.5%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	50.7%	24.8%	19.2%	24.6%	100.0%
	6. 川西地区南	52.0%	25.9%	22.5%	22.1%	100.0%
	7. 中之島・与板	53.1%	21.6%	15.1%	25.2%	100.0%
	8. 越路・小国	46.6%	25.7%	16.6%	27.7%	100.0%
	9. 和島・寺泊	47.4%	24.9%	15.4%	27.7%	100.0%
	10. 栃尾	46.2%	27.1%	18.1%	26.7%	100.0%
	11. 川口	47.2%	23.6%	14.5%	29.2%	100.0%
長岡市全域		48.8%	26.8%	20.1%	24.4%	100.0%
長岡市全域 (前回調査)		46.7%	28.4%	21.3%	24.9%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(1-⑤) 「はつらつ広場」「介護予防サークル」(介護予防のための通いの場)にどのくらいの頻度で参加していますか(1つに○)

回答者に「はつらつ広場」「介護予防サークル」(介護予防のための通いの場)にどのくらいの頻度で参加しているかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 週4回以上」が1.0%、「2. 週2～3回」が1.4%、「3. 週1回」が4.2%、「4. 月1回～3回」が2.5%、「5. 年に数回」が1.9%で、「6. 参加していない」が62.8%であった。なお、頻度にかかわらず「参加している合計」割合は11.0%で、「(内)月1回以上」の割合は9.0%である。圏域別にみると大きな違いはない。

問5 地域での活動について

(1-⑤) 「はつらつ広場」「介護予防サークル」(介護予防のための通いの場)にどのくらいの頻度で参加していますか(1つに○)

		対象者数 (n=)	1. 週4 回以上	2. 週2 ～3回	3. 週1 回	4. 月1 回～3回	5. 年に 数回
圏 域	1. 川東地区西	9,177	1.2%	2.4%	5.8%	2.1%	1.8%
	2. 川東地区東	8,092	2.2%	2.0%	5.0%	2.2%	1.2%
	3. 川東地区北	7,684	0.9%	1.0%	3.7%	1.7%	2.7%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	1.0%	1.7%	2.6%	1.6%	1.9%
	5. 川西地区北・三島	5,254	0.6%	1.1%	3.9%	3.1%	1.8%
	6. 川西地区南	10,490	0.4%	1.3%	3.3%	0.9%	2.0%
	7. 中之島・与板	5,002	0.6%	2.8%	4.2%	3.7%	0.4%
	8. 越路・小国	5,281	0.9%	0.3%	2.6%	5.3%	3.6%
	9. 和島・寺泊	4,137	1.8%	0.0%	6.0%	4.5%	1.8%
	10. 栃尾	6,192	0.3%	0.2%	6.0%	3.7%	1.4%
	11. 川口	1,372	0.0%	1.3%	1.0%	2.6%	3.8%
長岡市全域		70,831	1.0%	1.4%	4.2%	2.5%	1.9%
長岡市全域(前回調査)		—	—	—	—	—	—

		6. 参加 していない	参加して いる合計	(内)月 1回以上	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	59.3%	13.4%	11.5%	27.4%	100.0%
	2. 川東地区東	65.9%	12.5%	11.3%	21.6%	100.0%
	3. 川東地区北	64.9%	9.9%	7.2%	25.2%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	62.6%	8.8%	6.9%	28.7%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	63.8%	10.5%	8.7%	25.6%	100.0%
	6. 川西地区南	67.0%	7.8%	5.8%	25.2%	100.0%
	7. 中之島・与板	62.5%	11.7%	11.2%	25.9%	100.0%
	8. 越路・小国	59.4%	12.7%	9.1%	27.9%	100.0%
	9. 和島・寺泊	56.9%	14.2%	12.3%	28.9%	100.0%
	10. 栃尾	60.8%	11.6%	10.2%	27.7%	100.0%
	11. 川口	62.3%	8.7%	4.9%	29.0%	100.0%
長岡市全域		62.8%	11.0%	9.0%	26.3%	100.0%
長岡市全域(前回調査)		—	—	—	—	—

(注) 表中長岡市全域(前回調査)は、調査項目がなかったため「—」とした。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(1-⑥) 老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか (1つに○)

回答者に老人クラブにどのくらいの頻度で参加しているかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 週4回以上」が0.4% (前回調査では0.7%)、「2. 週2～3回」が0.5% (同、0.7%)、「3. 週1回」が0.9% (同、0.9%)、「4. 月1回～3回」が3.5% (同、4.0%)、「5. 年に数回」が10.0% (同、12.3%)で、「6. 参加していない」が58.8% (同、55.7%)であった。なお、頻度にかかわらず「参加している合計」割合は15.3% (同、18.6%)で、「(内) 月1回以上」の割合は5.3% (同、6.3%)である。

圏域別にみると、ばらつきが大きいですが、なかでも「参加している合計」の割合は、越路・小国が34.0%と高い。また、「(内) 月1回以上」の割合は、川東地区東が1.8%と低く、越路・小国が10.0%と高くなっていることが特徴的である。

問5 地域での活動について

(1-⑥) 老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか (1つに○)

		対象者数 (n=)	1. 週4 回以上	2. 週2 ～3回	3. 週1 回	4. 月1 回～3回	5. 年に 数回
圏 域	1. 川東地区西	9,177	0.5%	0.2%	1.3%	2.5%	3.8%
	2. 川東地区東	8,092	0.3%	0.0%	0.9%	0.6%	2.1%
	3. 川東地区北	7,684	0.0%	0.8%	1.4%	3.0%	8.1%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	0.0%	1.2%	0.6%	5.5%	7.5%
	5. 川西地区北・三島	5,254	0.0%	0.3%	0.8%	4.8%	11.5%
	6. 川西地区南	10,490	0.6%	0.6%	0.6%	1.7%	10.4%
	7. 中之島・与板	5,002	0.4%	0.0%	0.0%	3.8%	17.5%
	8. 越路・小国	5,281	0.6%	0.3%	0.9%	8.2%	24.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	1.0%	0.6%	1.4%	4.6%	8.3%
	10. 栃尾	6,192	0.7%	1.0%	0.6%	4.0%	14.1%
	11. 川口	1,372	0.4%	0.8%	0.8%	4.0%	18.5%
長岡市全域		70,831	0.4%	0.5%	0.9%	3.5%	10.0%
長岡市全域 (前回調査)		66,228	0.7%	0.7%	0.9%	4.0%	12.3%

		6. 参加 していない	参加して いる合計	(内) 月 1回以上	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	61.0%	8.3%	4.5%	30.7%	100.0%
	2. 川東地区東	69.9%	3.9%	1.8%	26.2%	100.0%
	3. 川東地区北	62.5%	13.3%	5.2%	24.2%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	58.6%	14.9%	7.3%	26.6%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	56.1%	17.4%	5.8%	26.5%	100.0%
	6. 川西地区南	61.8%	13.9%	3.4%	24.3%	100.0%
	7. 中之島・与板	54.1%	21.7%	4.3%	24.2%	100.0%
	8. 越路・小国	41.4%	34.0%	10.0%	24.6%	100.0%
	9. 和島・寺泊	58.7%	16.0%	7.7%	25.3%	100.0%
	10. 栃尾	54.0%	20.4%	6.3%	25.5%	100.0%
	11. 川口	52.7%	24.5%	6.0%	22.8%	100.0%
長岡市全域		58.8%	15.3%	5.3%	25.9%	100.0%
長岡市全域 (前回調査)		55.7%	18.6%	6.3%	25.7%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(1-⑦) 町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか（1つに○）

回答者に町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加しているかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 週4回以上」が0.6%（前回調査では0.7%）、「2. 週2～3回」が0.5%（同、0.7%）、「3. 週1回」が0.9%（同、0.9%）、「4. 月1回～3回」が4.7%（同、5.9%）、「5. 年に数回」が25.7%（同、26.4%）で、「6. 参加していない」が41.8%（同、38.7%）であった。なお、頻度にかかわらず「参加している合計」割合は32.5%（同、34.6%）で、「（内）月1回以上」の割合は6.8%（同、8.2%）である。

圏域別にみると、ばらつきがやや大きいのが、なかでも「参加している合計」の割合は、川東地区東が25.9%と低く、川口が43.5%と高くなっていることが特徴的である。また、「（内）月1回以上」の割合は、大きな違いはない。

問5 地域での活動について

(1-⑦) 町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. 週4 回以上	2. 週2 ～3回	3. 週1 回	4. 月1 回～3回	5. 年に 数回
圏 域	1. 川東地区西	9,177	1.0%	1.0%	0.5%	5.8%	23.4%
	2. 川東地区東	8,092	0.6%	0.3%	0.3%	2.3%	22.4%
	3. 川東地区北	7,684	0.3%	0.5%	0.8%	6.1%	23.7%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	1.2%	0.9%	1.2%	1.8%	28.7%
	5. 川西地区北・三島	5,254	1.1%	0.3%	1.4%	5.6%	24.5%
	6. 川西地区南	10,490	0.3%	0.0%	0.6%	2.6%	28.6%
	7. 中之島・与板	5,002	0.1%	0.6%	2.4%	7.5%	24.2%
	8. 越路・小国	5,281	0.0%	0.3%	0.9%	6.1%	31.8%
	9. 和島・寺泊	4,137	0.9%	0.6%	1.2%	7.5%	23.6%
	10. 栃尾	6,192	0.9%	0.6%	1.3%	5.0%	23.7%
	11. 川口	1,372	0.4%	0.4%	0.4%	6.8%	35.5%
長岡市全域		70,831	0.6%	0.5%	0.9%	4.7%	25.7%
長岡市全域（前回調査）		66,228	0.7%	0.7%	0.9%	5.9%	26.4%

		6. 参加 してい ない	参加して いる合計	(内)月 1回以上	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	39.9%	31.7%	8.3%	28.4%	100.0%
	2. 川東地区東	49.6%	25.9%	3.6%	24.5%	100.0%
	3. 川東地区北	45.6%	31.4%	7.7%	23.0%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	39.2%	33.9%	5.2%	26.9%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	44.0%	32.9%	8.3%	23.1%	100.0%
	6. 川西地区南	45.9%	32.1%	3.5%	22.1%	100.0%
	7. 中之島・与板	38.5%	34.8%	10.6%	26.8%	100.0%
	8. 越路・小国	32.6%	39.1%	7.3%	28.2%	100.0%
	9. 和島・寺泊	37.7%	33.8%	10.2%	28.5%	100.0%
	10. 栃尾	40.0%	31.5%	7.8%	28.5%	100.0%
	11. 川口	29.4%	43.5%	8.0%	27.2%	100.0%
長岡市全域		41.8%	32.5%	6.8%	25.7%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		38.7%	34.6%	8.2%	26.7%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.6 「問6 たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします）」

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも○）

回答者に、あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいるかどうかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 配偶者」が最も多く59.8%（前回調査では64.0%）の人が選択している。以下、「2. 同居の子ども」35.5%（同、36.3%）、「3. 別居の子ども」29.7%（同、32.4%）、「4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫」20.4%（同、23.3%）、「6. 友人」4.5%（同、5.7%）、「5. 近隣」2.0%（同、2.9%）が続いており、「8. そのような人はいない」は5.3%（同、3.9%）であった。「7. その他」の自由記入では、「嫁（子どもとは区別しているようである）」「ヘルパーの方」「施設の職員」「介護スタッフ」などが挙がっている。圏域別にみると傾向に多少の違いはみられるが、大きな違いはない。

問6 たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします）
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも○）

		対象者数 (n=)	1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
圏域	1. 川東地区西	9,177	51.8%	33.3%	31.6%	17.6%	1.8%
	2. 川東地区東	8,092	56.7%	30.4%	32.2%	17.3%	1.1%
	3. 川東地区北	7,684	64.4%	33.6%	33.2%	19.5%	1.2%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	59.4%	38.3%	25.7%	19.1%	1.6%
	5. 川西地区北・三島	5,254	65.7%	37.1%	29.7%	21.0%	1.5%
	6. 川西地区南	10,490	59.3%	34.2%	29.2%	18.2%	2.9%
	7. 中之島・与板	5,002	61.0%	43.3%	30.0%	24.4%	1.3%
	8. 越路・小国	5,281	62.4%	34.3%	31.3%	28.2%	5.2%
	9. 和島・寺泊	4,137	59.7%	46.9%	25.2%	21.6%	1.8%
	10. 栃尾	6,192	62.8%	31.2%	26.1%	23.5%	2.4%
	11. 川口	1,372	64.2%	39.9%	35.7%	21.6%	2.0%
長岡市全域		70,831	59.8%	35.5%	29.7%	20.4%	2.0%
長岡市全域（前回調査）		66,228	64.0%	36.3%	32.4%	23.3%	2.9%

		6. 友人	7. その他	8. そのような人はいない	不明・無回答
圏域	1. 川東地区西	4.8%	1.5%	7.9%	2.1%
	2. 川東地区東	5.2%	0.9%	6.1%	3.1%
	3. 川東地区北	2.9%	1.7%	4.6%	3.1%
	4. 川東地区南・山古志	2.8%	2.0%	5.3%	2.3%
	5. 川西地区北・三島	5.1%	0.7%	5.6%	1.7%
	6. 川西地区南	6.5%	2.6%	5.8%	1.5%
	7. 中之島・与板	4.5%	1.9%	2.7%	2.8%
	8. 越路・小国	2.9%	0.7%	3.8%	2.1%
	9. 和島・寺泊	5.3%	2.8%	4.1%	2.8%
	10. 栃尾	4.5%	0.9%	4.4%	2.3%
	11. 川口	5.8%	0.4%	4.4%	1.7%
長岡市全域		4.5%	1.6%	5.3%	2.3%
長岡市全域（前回調査）		5.7%	1.3%	3.9%	1.6%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも○）

回答者に、あなたが看病や世話をしてあげる人がいるかどうかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 配偶者」が最も多く61.1%（前回調査では61.0%）の人が選択している。以下、「2. 同居の子ども」27.7%（同、27.2%）、「4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫」27.6%（同、31.8%）、「3. 別居の子ども」23.6%（同、25.5%）、「6. 友人」6.0%（同、6.9%）、「5. 近隣」2.9%（同、3.7%）が続いている。なお、「8. そのような人はいない」は11.8%（同、13.3%）とかなり高くなっている。「7. その他」の自由記入では、「看病や世話をできない」がほとんどである。圏域別にみると傾向に多少の違いはみられるが、大きな違いはない。

問6 たすけあいについて（あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします）
 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも○）

		対象者数 (n=)	1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
圏域	1. 川東地区西	9,177	55.7%	27.6%	22.8%	24.3%	2.4%
	2. 川東地区東	8,092	59.0%	24.3%	25.2%	25.6%	2.7%
	3. 川東地区北	7,684	64.6%	25.2%	27.1%	22.7%	1.9%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	60.4%	30.3%	21.4%	24.2%	2.5%
	5. 川西地区北・三島	5,254	66.5%	27.1%	24.4%	30.0%	2.9%
	6. 川西地区南	10,490	59.9%	25.6%	25.7%	30.2%	3.3%
	7. 中之島・与板	5,002	60.1%	34.6%	22.6%	35.7%	4.3%
	8. 越路・小国	5,281	63.9%	27.7%	21.4%	35.2%	4.1%
	9. 和島・寺泊	4,137	60.7%	32.9%	19.5%	26.7%	3.0%
	10. 栃尾	6,192	62.7%	26.5%	21.7%	26.3%	2.5%
	11. 川口	1,372	67.0%	29.5%	26.0%	28.4%	4.0%
長岡市全域		70,831	61.1%	27.7%	23.6%	27.6%	2.9%
長岡市全域（前回調査）		66,228	61.0%	27.2%	25.5%	31.8%	3.7%

		6. 友人	7. その他	8. そのような人はいない	不明・無回答
圏域	1. 川東地区西	5.9%	1.4%	14.2%	6.4%
	2. 川東地区東	5.6%	1.7%	13.0%	6.1%
	3. 川東地区北	4.4%	1.0%	11.8%	6.7%
	4. 川東地区南・山古志	5.8%	1.8%	13.2%	4.1%
	5. 川西地区北・三島	5.9%	2.0%	8.6%	4.7%
	6. 川西地区南	6.4%	1.5%	13.9%	3.9%
	7. 中之島・与板	7.2%	3.1%	7.6%	6.4%
	8. 越路・小国	5.3%	1.8%	7.6%	8.0%
	9. 和島・寺泊	7.6%	1.6%	13.1%	5.5%
	10. 栃尾	6.3%	1.3%	10.8%	5.1%
	11. 川口	6.8%	1.4%	9.6%	5.9%
長岡市全域		6.0%	1.7%	11.8%	5.6%
長岡市全域（前回調査）		6.9%	1.8%	13.3%	5.2%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
 また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.7 「問7 健康について」

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（1つに○）（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

回答者に現在の幸せ度を伺ったところ、長岡市全域では「8点」の割合が最も高く21.9%（前回調査では20.2%）であった。以下、「10点」の18.2%（同、19.4%）、「5点」の17.8%（同、18.8%）、「7点」の13.1%（同、12.5%）、「9点」の9.6%（同、10.2%）、「6点」の8.0%（同、8.1%）が続いており、ここまではすべて「5点以上」である。圏域別に同様の順位付けを行うと、11圏域すべてで「5点以上」の割合が上位1位から6位となっている。

幸せ度は主観的なものであるため、圏域間で点数を比較する意味はあまり無いが、参考として平均点数をみておく。長岡市全域の平均点数は6.9（前回調査では7.3）であり、川東地区西、川東地区東、川東地区南・山古志、川西地区北・三島、川西地区南、越路・小国では全域平均よりも高くなっている。これに対して、川東地区北、中之島・与板、和島・寺泊、栃尾、川口では全域平均よりも低くなっている。

問7 健康について

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（1つに○）
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

		対象者数 (n=)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
圏 域	1. 川東地区西	9,177	0.3%	1.0%	0.3%	1.2%	3.5%	19.2%	6.6%
	2. 川東地区東	8,092	0.6%	0.0%	1.3%	1.7%	3.6%	15.8%	6.7%
	3. 川東地区北	7,684	0.0%	0.1%	0.8%	2.9%	1.6%	19.4%	8.6%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	0.3%	0.4%	0.3%	3.0%	2.5%	17.5%	5.4%
	5. 川西地区北・三島	5,254	1.2%	0.1%	0.0%	2.3%	1.2%	18.7%	7.4%
	6. 川西地区南	10,490	0.9%	0.0%	1.4%	1.8%	3.2%	16.4%	8.8%
	7. 中之島・与板	5,002	0.8%	0.3%	1.2%	2.7%	3.6%	17.9%	10.3%
	8. 越路・小国	5,281	0.3%	0.6%	0.6%	1.8%	1.9%	17.1%	10.7%
	9. 和島・寺泊	4,137	0.3%	0.1%	1.3%	2.3%	4.6%	16.3%	9.2%
	10. 栃尾	6,192	0.4%	0.0%	1.9%	4.5%	3.2%	20.0%	8.7%
	11. 川口	1,372	0.0%	0.4%	0.5%	1.8%	2.2%	18.4%	9.1%
長岡市全域		70,831	0.5%	0.3%	0.9%	2.3%	2.9%	17.8%	8.0%
長岡市全域（前回調査）		66,228	0.5%	0.4%	0.7%	2.2%	2.8%	18.8%	8.1%

		7点	8点	9点	10点	平均 点数	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	12.2%	23.6%	10.2%	18.0%	7.0	3.9%	100.0%
	2. 川東地区東	16.0%	22.5%	9.0%	17.9%	6.9	4.9%	100.0%
	3. 川東地区北	15.7%	22.6%	7.0%	14.5%	6.6	6.9%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	11.4%	26.6%	8.7%	19.8%	7.1	4.1%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	14.1%	20.5%	9.5%	20.5%	7.0	4.4%	100.0%
	6. 川西地区南	13.1%	19.8%	11.9%	19.3%	7.1	3.3%	100.0%
	7. 中之島・与板	9.6%	17.8%	12.2%	18.5%	6.8	5.2%	100.0%
	8. 越路・小国	12.8%	26.7%	7.8%	16.0%	7.0	3.7%	100.0%
	9. 和島・寺泊	12.6%	15.0%	10.7%	22.2%	6.9	5.4%	100.0%
	10. 栃尾	12.4%	20.4%	8.5%	16.8%	6.8	3.1%	100.0%
	11. 川口	11.9%	22.0%	11.3%	16.8%	6.9	5.7%	100.0%
長岡市全域		13.1%	21.9%	9.6%	18.2%	6.9	4.4%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		12.5%	20.2%	10.2%	19.4%	7.3	4.1%	100.0%

（注）表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つに○）

回答者に、この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかどうかを伺ったところ、長岡市全域では「1. はい」が35.4%（前回調査では34.1%）で、「2. いいえ」が61.1%（同、63.0%）であった。

圏域別にみると大きな違いはないが、川東地区東では「1. はい」の割合が40.4%と高く、「2. いいえ」の割合が56.0%と低いことが特徴的である。

問7 健康について

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. はい	2. いいえ	不明・ 無回答	合計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	40.0%	57.6%	2.4%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	40.4%	56.0%	3.6%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	36.7%	58.1%	5.2%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	32.8%	64.0%	3.2%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	35.1%	61.0%	3.9%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	31.0%	66.0%	3.0%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	35.4%	60.8%	3.8%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	33.1%	63.8%	3.0%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	32.9%	63.3%	3.7%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	35.8%	60.6%	3.6%	100.0%
	11. 川口	1,372	34.2%	61.7%	4.1%	100.0%
長岡市全域		70,831	35.4%	61.1%	3.5%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		66,228	34.1%	63.0%	2.9%	100.0%

（注）表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.8 「問8 認知症にかかる相談窓口の把握について」

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つに○）

回答者に、認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかを伺ったところ、長岡市全域では「1. はい」が12.2%で、「2. いいえ」が84.3%であった。

圏域別にみると、川東地区西では「1. はい」の割合が16.1%と高く、「2. いいえ」の割合が79.4%と低くなっている。また、川東地区南・山古志では「2. いいえ」の割合が88.5%と高いことが特徴的である。

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. はい	2. いいえ	不明・ 無回答	合計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	16.1%	79.4%	4.5%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	12.2%	82.7%	5.1%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	11.4%	85.7%	2.9%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	10.4%	88.5%	1.1%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	10.4%	85.6%	4.0%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	10.9%	86.1%	3.0%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	13.4%	84.2%	2.5%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	10.9%	84.1%	4.9%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	12.3%	83.2%	4.5%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	13.7%	83.5%	2.7%	100.0%
	11. 川口	1,372	12.6%	85.3%	2.1%	100.0%
長岡市全域		70,831	12.2%	84.3%	3.4%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		—	—	—	—	—

(注) 表中長岡市全域（前回調査）は、調査項目がなかったため「—」とした。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）

回答者に、認知症に関する相談窓口を知っているかを伺ったところ、長岡市全域では「1. はい」が32.7%で、「2. いいえ」が63.7%であった。

圏域別にみると、川口が他の圏域とは大きく異なっている。川口では「1. はい」の割合が47.4%と高く、「2. いいえ」の割合が49.4%と低くなっている。

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. はい	2. いいえ	不明・ 無回答	合計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	28.3%	68.9%	2.8%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	33.9%	61.3%	4.9%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	30.3%	66.5%	3.2%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	33.1%	65.2%	1.7%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	36.4%	57.4%	6.2%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	33.2%	63.8%	3.0%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	38.6%	58.9%	2.5%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	36.3%	58.7%	5.0%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	32.7%	61.2%	6.1%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	25.3%	71.3%	3.3%	100.0%
	11. 川口	1,372	47.4%	49.4%	3.2%	100.0%
長岡市全域		70,831	32.7%	63.7%	3.6%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		—	—	—	—	—

(注) 表中長岡市全域（前回調査）は、調査項目がなかったため「—」とした。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.9 「問10 今後の暮らしについて」

(1) もし今後、介護が必要となった場合、どこで暮らしたいですか（1つに○）

回答者に、介護が必要となった場合、どこで暮らしたいかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 自宅で暮らしたい」が52.2%（前回調査では56.5%）で、「2. 高齢者向けの住宅や介護施設などで暮らしたい」が39.8%（同、35.3%）で、「3. その他」が2.9%（同、2.2%）であった。「3. その他」の自由記入では、「その時の状況に応じて」「わからない」「考え中、まだ考えていない」「子供の家」「経済的な状況次第」などが挙げられている。

圏域別にみると、川東地区南・山古志では「2. 高齢者向けの住宅や介護施設などで暮らしたい」の割合が44.9%と高くなっている。川西地区南では「1. 自宅で暮らしたい」の割合が58.3%と高くなっている。

問10 今後の暮らしについて

(1) もし今後、介護が必要となった場合、どこで暮らしたいですか（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. 自宅 で暮ら したい	2. 高齢 者向け の住宅 や介護 施設な どで暮 らした い	3. その 他	不明・ 無回答	合 計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	50.8%	41.8%	2.6%	4.8%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	51.6%	40.9%	2.6%	4.8%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	48.8%	39.3%	3.6%	8.3%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	46.7%	44.9%	2.9%	5.5%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	52.5%	38.9%	2.1%	6.5%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	58.3%	35.8%	2.4%	3.5%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	57.1%	37.3%	1.3%	4.3%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	51.1%	40.0%	4.1%	4.8%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	54.5%	36.9%	4.0%	4.6%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	51.4%	40.7%	3.6%	4.3%	100.0%
	11. 川口	1,372	50.8%	39.5%	3.3%	6.3%	100.0%
長岡市全域		70,831	52.2%	39.8%	2.9%	5.1%	100.0%
長岡市全域（前回調査）		66,228	56.5%	35.3%	2.2%	5.9%	100.0%

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(2) もし、自宅で介護を受けることになった場合、次のうち、安心して暮らし続けるために欠かせないと思うものはどれですか（いくつでも○）

回答者に、安心して暮らし続けるために欠かせないと思うものを伺ったところ、長岡市全域では「1. 必要な在宅介護サービスが整っていること」が最も多く70.7%（前回調査では69.3%）の人が選択している。以下、「6. 家族や親族の理解や協力が得られること」62.4%（同、65.4%）、「2. 在宅医療が充実し、かかりつけ医による診察等が自宅で受けられること」61.5%（同、61.9%）、「4. 医療や介護などの専門多職種が連携して在宅療養を支える仕組みができていないこと」50.0%（前回調査なし）、「5. 身近な地域の人による、見守りや、買い物・ゴミ出しの手助けなど、地域の支え合いがあること」37.1%（前回調査では36.8%）、「3. 歯科衛生士による口腔ケアや栄養士による栄養指導など、専門家によるケアが自宅で受けられること」32.9%（同、31.7%）が続いている。「7. その他」の自由記入では、「経済的な問題が心配である」「すでに施設等に入っている」「そのときの状況による」「一人暮らしのため自宅は無理である」などが挙がっている。圏域別にみると傾向に多少の違いはみられるが、大きな違いはない。

問10 今後の暮らしについて

(2) もし、自宅で介護を受けることになった場合、次のうち、安心して暮らし続けるために欠かせないと思うものはどれですか（いくつでも○）

	対象者数 (n=)	1. 必要な在宅介護サービスが整っていること	2. 在宅医療が充実し、かかりつけ医による診察等が受けられること	3. 歯科衛生士による口腔ケアや栄養士による栄養指導など、専門家によるケアが自宅で受けられること	4. 医療や介護などの専門多職種が連携して在宅療養を支える仕組みができていないこと	5. 身近な地域の人による、見守りや、買い物・ゴミ出しの手助けなど、地域の支え合いがあること	6. 家族や親族の理解や協力が得られること	7. その他	不明・無回答	
圏域	1. 川東地区西	9,177	74.6%	62.5%	38.9%	51.2%	35.1%	61.3%	3.4%	6.2%
	2. 川東地区東	8,092	76.0%	66.7%	40.5%	54.1%	37.8%	56.6%	1.8%	6.2%
	3. 川東地区北	7,684	73.3%	64.0%	33.8%	51.1%	37.3%	63.0%	1.4%	10.9%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	69.8%	59.9%	32.4%	49.7%	39.6%	65.1%	2.3%	7.3%
	5. 川西地区北・三島	5,254	65.1%	60.2%	27.5%	46.3%	33.1%	63.2%	2.7%	8.6%
	6. 川西地区南	10,490	70.8%	62.2%	35.2%	53.1%	39.0%	59.3%	2.6%	5.6%
	7. 中之島・与板	5,002	70.0%	58.2%	26.9%	47.8%	34.1%	68.7%	0.7%	4.0%
	8. 越路・小国	5,281	65.1%	62.2%	28.9%	47.3%	43.4%	66.0%	2.1%	6.6%
	9. 和島・寺泊	4,137	64.3%	61.4%	25.6%	45.5%	30.8%	63.9%	2.8%	6.9%
	10. 栃尾	6,192	70.7%	53.2%	28.5%	48.4%	37.0%	60.9%	3.0%	6.6%
	11. 川口	1,372	67.1%	65.6%	26.0%	43.9%	36.0%	70.7%	0.9%	8.3%
長岡市全域	70,831	70.7%	61.5%	32.9%	50.0%	37.1%	62.4%	2.3%	6.9%	
長岡市全域（前回調査）	66,228	69.3%	61.9%	31.7%	—	36.8%	65.4%	3.1%	7.4%	

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

4.10 「問11 介護保険制度について」

(1) 介護保険料について、あなたの考えはどれに近いですか（1つに○）

回答者に、介護保険料についての考えを伺ったところ、長岡市全域では「2. 介護サービスの水準（施設数や選べるサービス）はこのままでよいので、介護保険料は上げないでほしい」が最も多く 36.8%（前回調査では 36.9%）であった。以下、「3. 介護予防事業を充実させ高齢者の健康増進をはかることで、介護保険料を抑えてほしい」が 28.1%（同、27.9%）、「1. 介護保険料は上がってもよいので、今よりも介護サービスの充実（施設や選べるサービスを増やす）をはかってほしい」が 13.2%（同、11.0%）となっており、1位と2位の選択順位は全圏域で同じである。

問11 介護保険制度について

(1) 介護保険料について、あなたの考えはどれに近いですか（1つに○）

	対象者数 (n=)	1. 介護保険料は上がってもよいので、今よりも介護サービスの充実（施設や選べるサービスを増やす）をはかってほしい	2. 介護サービスの水準（施設数や選べるサービス）はこのままでよいので、介護保険料は上げないでほしい	3. 介護予防事業を充実させ高齢者の健康増進をはかることで、介護保険料を抑えてほしい	4. わからない	不明・無回答	合計	
圏域	1. 川東地区西	9,177	19.1%	29.7%	28.2%	14.6%	8.4%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	14.2%	35.7%	29.9%	13.5%	6.7%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	13.7%	36.0%	28.5%	11.7%	10.0%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	12.8%	39.4%	24.7%	12.4%	10.7%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	13.6%	34.6%	27.3%	14.0%	10.5%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	13.4%	37.4%	29.0%	14.2%	6.0%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	15.2%	35.3%	28.8%	13.2%	7.5%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	9.9%	36.0%	29.9%	13.3%	10.9%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	10.2%	38.0%	27.2%	12.4%	12.2%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	7.2%	46.3%	27.5%	11.4%	7.5%	100.0%
	11. 川口	1,372	8.0%	45.7%	25.3%	12.4%	8.6%	100.0%
長岡市全域	70,831	13.2%	36.8%	28.1%	13.2%	8.7%	100.0%	
長岡市全域（前回調査）	66,228	11.0%	36.9%	27.9%	12.6%	11.6%	100.0%	

(注) 表中長岡市全域の網掛けは、今回調査と前回調査で値が大きいものである。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(2) 長岡市が行っている介護予防事業（ながおか元気体操、ハッピー体操、はつらつ広場、介護予防サークル、水中運動教室、はつらつ教室、認知症予防教室など）をご存じですか。また、参加したことがありますか（1つに○）

回答者に、長岡市が行っている介護予防事業について伺ったところ、長岡市全域では「1. 知っているし、参加したことがある」が15.6%、「2. 知っているが、参加したことはない」が41.6%、「3. 知らない」が38.4%であった。

圏域別にみると、越路・小国では「1. 知っているし、参加したことがある」の割合が20.6%と高くなっている。川口では「2. 知っているが、参加したことはない」の割合が31.0%と低く、「3. 知らない」の割合が48.3%と高くなっている。

問11 介護保険制度について

(2) 長岡市が行っている介護予防事業（ながおか元気体操、ハッピー体操、はつらつ広場、介護予防サークル、水中運動教室、はつらつ教室、認知症予防教室など）をご存じですか。また、参加したことがありますか（1つに○）

		対象者数 (n=)	1. 知っているし、参加したことがある	2. 知っているが、参加したことはない	3. 知らない	不明・無回答	合計
圏域	1. 川東地区西	9,177	17.2%	43.3%	37.2%	2.3%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	17.0%	41.6%	37.4%	4.0%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	14.2%	42.9%	36.0%	7.0%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	16.5%	41.8%	37.6%	4.1%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	16.5%	43.2%	34.0%	6.3%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	12.9%	40.7%	42.9%	3.5%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	13.5%	39.9%	42.0%	4.6%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	20.6%	42.8%	31.4%	5.3%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	13.7%	41.6%	39.4%	5.3%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	14.1%	39.8%	41.5%	4.6%	100.0%
	11. 川口	1,372	15.4%	31.0%	48.3%	5.3%	100.0%
長岡市全域		70,831	15.6%	41.6%	38.4%	4.5%	100.0%
長岡市全域(前回調査)		—	—	—	—	—	—

(注) 表中長岡市全域(前回調査)は、調査項目がなかったため「—」とした。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(3) 地域で住民が集まって、体操、レクリエーション、茶話会などを定期的に行っている通いの場があれば、参加者として参加してみたいと思いますか（1つに○）

回答者に地域で住民が集まって、体操、レクリエーション、茶話会などを定期的に行っている通いの場があれば、参加者として参加してみたいかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 現在参加している」が13.3%、「2. 是非参加したい」が6.9%、「3. 条件次第では参加したい」が42.6%、「4. 参加したくない」が29.5%となっている。

圏域別にみると、選択傾向は越路・小国を除いて大きな違いはないが、いくつかの圏域で特徴的なところがある。川東地区東では「2. 是非参加したい」の割合が4.5%と低く、「3. 条件次第では参加したい」の割合が49.2%と高くなっている。川西地区南では「4. 参加したくない」の割合が34.2%と高くなっている。越路・小国では「1. 現在参加している」の割合が24.1%と高く、「3. 条件次第では参加したい」の割合が35.9%と低いことが特徴的である。

問11 介護保険制度について

(3) 地域で住民が集まって、体操、レクリエーション、茶話会などを定期的に行っている
通いの場があれば、参加者として参加してみたいと思いますか(1つに○)

		対象者数 (n=)	1. 現在参加している	2. 是非参加したい	3. 条件次第では参加したい	4. 参加したくない	不明・無回答	合計
圏 域	1. 川東地区西	9,177	14.5%	7.5%	43.8%	29.2%	4.9%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	10.4%	4.5%	49.2%	27.8%	8.1%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	11.8%	5.6%	41.9%	30.2%	10.5%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	9.6%	7.8%	44.0%	30.9%	7.6%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	14.3%	7.1%	39.8%	29.7%	9.2%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	10.6%	6.9%	42.3%	34.2%	6.0%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	15.1%	7.6%	41.1%	28.5%	7.8%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	24.1%	7.8%	35.9%	24.7%	7.4%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	17.6%	7.3%	40.4%	27.0%	7.7%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	11.8%	8.4%	42.7%	28.9%	8.3%	100.0%
	11. 川口	1,372	16.1%	6.4%	43.0%	25.3%	9.2%	100.0%
長岡市全域		70,831	13.3%	6.9%	42.6%	29.5%	7.6%	100.0%
長岡市全域(前回調査)		—	—	—	—	—	—	—

(注) 表中長岡市全域(前回調査)は、調査項目がなかったため「—」とした。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(4) 通いの場までの距離がどれくらいまでならば、参加したいと思いますか(1つに○)
(徒歩は目安であって、実際に通う手段は問いません)

【問11(3)で、1. 2. 3. を選択した方のみ】

回答者に通いの場までの距離がどれくらいまでならば、参加したいと思うかを伺ったところ、長岡市全域では「1. 徒歩5分以内」が12.1%、「2. 徒歩5分～10分」が37.7%、「3. 徒歩10分～15分」が31.2%、「4. 徒歩15分～30分」が12.4%、「5. 徒歩30分以上の距離であっても通いたい」が4.0%となっている。「15分以上でも参加したいと思う人」の割合は16.4%である。

問11 介護保険制度について

(4) 通いの場までの距離がどれくらいまでならば、参加したいと思いますか(1つに○)
(徒歩は目安であって、実際に通う手段は問いません)

		対象者数 (n=)	1. 徒歩5分以内	2. 徒歩5分～10分	3. 徒歩10分～15分	4. 徒歩15分～30分	5. 徒歩30分以上の距離であっても通いたい	不明・無回答	合計
圏 域	1. 川東地区西	6,043	11.8%	39.1%	30.1%	11.7%	5.5%	1.8%	100.0%
	2. 川東地区東	5,189	12.1%	35.0%	34.2%	13.0%	3.6%	2.1%	100.0%
	3. 川東地区北	4,558	10.5%	43.2%	34.6%	9.4%	1.4%	1.1%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	5,012	11.7%	35.0%	30.9%	16.2%	4.5%	1.6%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	3,212	9.8%	36.1%	31.3%	15.5%	4.0%	3.3%	100.0%
	6. 川西地区南	6,269	11.6%	41.4%	31.1%	9.8%	4.2%	2.0%	100.0%
	7. 中之島・与板	3,186	11.5%	37.1%	29.2%	12.6%	5.2%	4.4%	100.0%
	8. 越路・小国	3,584	15.3%	37.1%	30.6%	10.6%	2.5%	3.9%	100.0%
	9. 和島・寺泊	2,700	16.3%	40.6%	22.5%	11.1%	5.1%	4.4%	100.0%
	10. 栃尾	3,893	12.1%	30.3%	34.0%	16.6%	3.9%	3.0%	100.0%
	11. 川口	898	13.3%	41.0%	29.5%	8.7%	3.6%	3.8%	100.0%
長岡市全域		44,544	12.1%	37.7%	31.2%	12.4%	4.0%	2.5%	100.0%
長岡市全域(前回調査)		—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 表中長岡市全域(前回調査)は、調査項目がなかったため「—」とした。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

(5) 長岡市は、いざという時の安心のために「フェニックスネット」に取り組んでいます。

「フェニックスネット」をご存じですか（1つに○）

回答者に「フェニックスネット」について伺ったところ、長岡市全域では「1. どのような取組か知っており、登録している」が1.5%、「2. どのような取組か知っているが、登録はしていない」が4.7%、「3. 言葉は聞いたことはあるが、どのような取組かわからない」が19.2%、「4. 知らない（初めて聞いた）」が67.5%となっている。この結果を見る限りまだまだ認知度は低いと言わざるを得ない。

圏域別にみると、川東地区西と川東地区東では「1. どのような取組か知っており、登録している」の割合がともに3.2%と高くなっている。また、中之島・与板では「3. 言葉は聞いたことはあるが、どのような取組かわからない」の割合が24.7%と高くなっている。

問11 介護保険制度について

(5) 長岡市は、いざという時の安心のために「フェニックスネット」に取り組んでいます。
「フェニックスネット」をご存じですか（1つに○）

	対象者数 (n=)	1. どのような取組か知っており、登録している	2. どのような取組か知っているが、登録はしていない	3. 言葉は聞いたことはあるが、どのような取組かわからない	4. 知らない（初めて聞いた）	不明・無回答	合計	
圏域	1. 川東地区西	9,177	3.2%	5.7%	19.9%	67.1%	4.2%	100.0%
	2. 川東地区東	8,092	3.2%	5.3%	16.5%	66.7%	8.3%	100.0%
	3. 川東地区北	7,684	1.0%	5.4%	20.2%	63.2%	10.3%	100.0%
	4. 川東地区南・山古志	8,150	1.3%	2.8%	16.8%	71.3%	7.8%	100.0%
	5. 川西地区北・三島	5,254	0.5%	3.7%	22.8%	62.9%	10.1%	100.0%
	6. 川西地区南	10,490	1.5%	4.3%	16.1%	72.9%	5.2%	100.0%
	7. 中之島・与板	5,002	1.2%	3.4%	24.7%	65.5%	5.2%	100.0%
	8. 越路・小国	5,281	0.8%	6.5%	22.4%	61.0%	9.2%	100.0%
	9. 和島・寺泊	4,137	0.0%	5.9%	15.7%	70.5%	7.8%	100.0%
	10. 栃尾	6,192	0.4%	4.6%	21.1%	68.4%	5.5%	100.0%
	11. 川口	1,372	0.4%	3.6%	18.3%	70.4%	7.3%	100.0%
長岡市全域	70,831	1.5%	4.7%	19.2%	67.5%	7.1%	100.0%	
長岡市全域（前回調査）	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 表中長岡市全域（前回調査）は、調査項目がなかったため「—」とした。
また、各圏域の網掛けは長岡市全域よりも値が大きいものである。

5. 長岡市全域からみた各圏域の傾向（とりまとめ）

5.1 傾向把握のための個別集計結果の扱い

ここでは、長岡市内の各圏域の傾向をみるために、「回答者の属性」「家族や生活状況」を整理するとともに、調査項目ごとの個別設問に基準を設定し圏域の順位づけを行い、その順位をたしあげるにより、傾向把握のための指標を作成した。

5.2 長岡市全域からみた各圏域の傾向

(1) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：川東地区西）

川東地区西は、「後期高齢者割合」「女性割合」が高く、「前期高齢者割合」「男性割合」が低い圏域である。また、「事業対象者・要支援者割合」がやや高い圏域である。

家族構成は「1人暮らし」の割合が高く、「多世代世帯」の割合が低い。生活状況は「経済状態が苦しい」と回答している人の割合は低い。

個別指標でみると、「認知症にかかわっている人」の割合は高いが、「認知症相談窓口の認知度」は低い。介護が必要になったときに「施設介護」を望む割合が高く、「自宅介護」を望む人の割合は低くなっている。介護保険料については「介護サービス重視」の人の割合が高く、「現状の介護サービス水準」を望む割合が低い。「介護予防事業の認知度」「フェニックスネットの認知度」が高い圏域である。

「1. 川東地区西」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	後期高齢者割合 女性割合	1人暮らし	認知症にかかわっている人 施設介護 介護サービス重視 介護予防事業の認知度 フェニックスネットの認知度
4～6位	事業対象者・要支援者割合		食事状況 地域活動 活動能力（JST） 介護保険料の抑制 通いの場への参加意向 通いの場への参加の積極性
7～9位	未認定者割合	夫婦のみ世帯 介護・介助不要	身体能力 健康状態
10～12位	前期高齢者割合 男性割合	多世代世帯 経済状態が苦しい	生活能力（老研式） たすけあい状況 認知症相談窓口の認知度 自宅介護 現状の介護サービス水準

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(2) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：川東地区東）

川東地区東は、「事業対象者・要支援者割合」が高く、「未認定者割合」が低い圏域である。また、「後期高齢者割合」「女性割合」がやや高い。

家族構成は「1人暮らし」「夫婦のみ世帯」の割合が高く、「多世代世帯」の割合が低い。生活状況は「介護・介助不要」の人の割合がやや高い。

個別指標でみると、「身体能力」の高い人、「食事状況」の良好な人、「生活能力（老研式）」「活動能力（JST）」の高い人が多く、「地域活動」の盛んな圏域であるが、「たすけあい状況」からみた人との関わり合いが低くなっている。「通いの場への参加意向」も低くなっているが、「通いの場への参加の積極性」は低くはない。介護が必要になったときに「施設介護」を望む割合が高く、介護保険料については「介護サービス重視」を望む人の割合が高いが、「介護保険料の抑制」を望む人の割合も高い。「フェニックスネットの認知度」が高い圏域である。

「2. 川東地区東」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	事業対象者・要支援者割合	1人暮らし 夫婦のみ世帯	身体能力 食事状況 生活能力（老研式） 地域活動 活動能力（JST） 施設介護 介護サービス重視 介護保険料の抑制 フェニックスネットの認知度
4～6位	後期高齢者割合 女性割合	介護・介助不要	認知症相談窓口の認知度 自宅介護 介護予防事業の認知度 通いの場への参加の積極性
7～9位	前期高齢者割合 男性割合	経済状態が苦しい	健康状態 認知症にかかわっている人 現状の介護サービス水準
10～12位	未認定者割合	多世代世帯	たすけあい状況 通いの場への参加意向

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(3) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：川東地区北）

川東地区北は、「女性割合」が高く、「男性割合」が低い圏域である。また、「前期高齢者割合」「未認定者割合」がやや高い圏域である。

家族構成は「夫婦のみ世帯」の割合が高く、生活状況は「経済状態が苦しい」と回答している人の割合が高い。「介護・介助不要」と回答している人の割合が低い。

個別指標でみると、「たすけあい状況」からみた人との関わり合いがやや高い。介護保険料については「介護サービス重視」を望む人の割合がやや高いが、「介護保険料の抑制」を望む人の割合もやや高い。これに対して、「身体能力」の低い人、「健康状態」があまり良くない人が多いが、「施設介護」を望む割合が高いわけではない。性別でみると女性の方が「自宅介護」を望む割合が低く、この圏域は女性割合が高いため、「自宅介護」の割合が低くなっている可能性がある。「地域活動」が盛んでない圏域であり、「通いの場への参加意向」「通いの場への参加の積極性」も低い。

「3. 川東地区北」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	女性割合	夫婦のみ世帯 経済状態が苦しい	
4～6位	前期高齢者割合 未認定者割合		たすけあい状況 介護サービス重視 介護保険料の抑制 フェニックスネットの認知度
7～9位	後期高齢者割合 事業対象者・要支援者割合	1人暮らし 多世代世帯	食事状況 生活能力（老研式） 認知症にかかわっている人 活動能力（JST） 施設介護 現状の介護サービス水準 介護予防事業の認知度
10～12位	男性割合	介護・介助不要	身体能力 地域活動 健康状態 認知症相談窓口の認知度 自宅介護 通いの場への参加意向 通いの場への参加の積極性

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(4) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：川東地区南・山古志）

川東地区南・山古志は、「女性割合」「未認定者割合」が高く、「男性割合」「事業対象者・要支援者割合」は低い圏域である。また、「前期高齢者割合」がやや高い。

家族構成は「多世代世帯」の割合が高く、「夫婦のみ世帯」の割合が低い。生活状況は「介護・介助不要」と回答している人の割合が高い。「経済状態が苦しい」と回答している人の割合もやや高い圏域である。

個別指標でみると、「身体能力」の高い人、「健康状態」が良好な人の割合が高く、「通いの場への参加意向」はやや低いものの、「通いの場への参加の積極性」は高くなっている。介護が必要になったときに「施設介護」を望む割合が高く、介護保険料については「現状の介護サービス水準」を望む人の割合が高くなっている。

「4. 川東地区南・山古志」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	女性割合 未認定者割合	多世代世帯 介護・介助不要	身体能力 健康状態 施設介護 現状の介護サービス水準 通いの場への参加の積極性
4～6位	前期高齢者割合	1人暮らし 経済状態が苦しい	食事状況 地域活動 介護予防事業の認知度
7～9位	後期高齢者割合		生活能力（老研式） たすけあい状況 認知症相談窓口の認知度 活動能力（JST） 介護サービス重視 通いの場への参加意向
10～12位	男性割合 事業対象者・要支援者割合	夫婦のみ世帯	認知症にかかわっている人 自宅介護 介護保険料の抑制 フェニックスネットの認知度

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(5) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：川西地区北・三島）

川西地区北・三島は、「前期高齢者割合」が高く、「後期高齢者割合」が低い圏域である。また、「男性割合」がやや高く、「女性割合」がやや低い。要介護（支援）度では、「未認定者割合」がやや高く、「事業対象者・要支援者割合」がやや低くなっている。

家族構成は「夫婦のみ世帯」と「多世代世帯」の割合がやや高く、「1人暮らし」の割合が低い。生活状況は「介護・介助不要」と回答している人の割合がやや高く、「経済状態が苦しい」と回答している人の割合が低い。

個別指標でみると、「食事状況」「健康状態」の良好な人の割合が高い。「生活能力（老研式）」の高い人の割合が多く、「活動能力（JST）」でもやや高くなっている。また、「通いの場への参加の積極性」も高い。「認知症相談窓口の認知度」「介護予防事業の認知度」は高いが、「フェニックスネットの認知度」は低くなっている。

「5. 川西地区北・三島」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	前期高齢者割合		食事状況 生活能力（老研式） 健康状態 認知症相談窓口の認知度 介護予防事業の認知度 通いの場への参加の積極性
4～6位	男性割合 未認定者割合	夫婦のみ世帯 多世代世帯 介護・介助不要	身体能力 たすけあい状況 活動能力（JST） 自宅介護 介護サービス重視 通いの場への参加意向
7～9位	女性割合 事業対象者・要支援者割合		施設介護 介護保険料の抑制
10～12位	後期高齢者割合	1人暮らし 経済状態が苦しい	地域活動 認知症にかかわっている人 現状の介護サービス水準 フェニックスネットの認知度

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(6) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：川西地区南）

川西地区南は、「前期高齢者割合」「未認定者割合」が高く、「後期高齢者割合」「事業対象者・要支援者割合」が低い圏域である。また、「女性割合」がやや高く、「男性割合」がやや低くなっている。

家族構成は「1人暮らし」「夫婦のみ世帯」の割合が高く、「多世代世帯」の割合が低い。生活状況は「介護・介助不要」と回答している人の割合が高いが、「経済状態が苦しい」と回答している人の割合がやや高い圏域である。

個別指標でみると、「食事状況」「健康状態」が良好な人の割合が高いが、「生活能力（老研式）」「活動能力（JST）」の高い人の割合がやや低い。介護が必要になったときに「自宅介護」を望む割合が高く、介護保険料については「介護保険料の抑制」を望む人の割合が高い。

「6. 川西地区南」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	前期高齢者割合 未認定者割合	1人暮らし 夫婦のみ世帯 介護・介助不要	食事状況 健康状態 自宅介護 介護保険料の抑制
4～6位	女性割合	経済状態が苦しい	身体能力 認知症相談窓口の認知度 介護サービス重視 現状の介護サービス水準
7～9位	男性割合		生活能力（老研式） 地域活動 活動能力（JST） 通いの場への参加の積極性 フェニックスネットの認知度
10～12位	後期高齢者割合 事業対象者・要支援者割合	多世代世帯	たすけあい状況 認知症にかかわっている人 施設介護 介護予防事業の認知度 通いの場への参加意向

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(7) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：中之島・与板）

中之島・与板は、「後期高齢者割合」「男性割合」が高く、「前期高齢者割合」「女性割合」が低い圏域である。また、「未認定者割合」がやや高く、「事業対象者・要支援者割合」がやや低くなっている。

家族構成は「多世代世帯」の割合が高く、「1人暮らし」「夫婦のみ世帯」の割合が低い。生活状況は「経済状態が苦しい」と回答している人の割合が低い。「介護・介助不要」と回答している人の割合はやや低くなっている。

個別指標でみると、「たすけあい状況」からみた人との関わり合いが高く、「通いの場への参加意向」も高い圏域である。また、「認知症にかかわっている人」が多く、「認知症相談窓口の認知度」が高い。介護が必要になったときに「自宅介護」を望む割合が高く、介護保険料については「介護サービス重視」を望む人の割合が高い。

「7. 中之島・与板」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	後期高齢者割合 男性割合	多世代世帯	たすけあい状況 認知症にかかわっている人 認知症相談窓口の認知度 自宅介護 介護サービス重視 通いの場への参加意向
4～6位	未認定者割合		食事状況 生活能力（老研式） 介護保険料の抑制 通いの場への参加の積極性
7～9位	事業対象者・要支援者割合	介護・介助不要	身体能力 健康状態 フェニックスネットの認知度
10～12位	前期高齢者割合 女性割合	1人暮らし 夫婦のみ世帯 経済状態が苦しい	地域活動 活動能力（JST） 施設介護 現状の介護サービス水準 介護予防事業の認知度

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(8) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：越路・小国）

越路・小国は、「男性割合」が高く、「女性割合」が低い圏域である。「後期高齢者割合」「事業対象者・要支援者割合」がやや高く、「前期高齢者割合」「未認定者割合」がやや低くなっている。

家族構成は「夫婦のみ世帯」の割合がやや高く、「1人暮らし」「多世代世帯」の割合がやや低い。生活状況は「経済状態が苦しい」と回答している人の割合が高く、「介護・介助不要」と回答している人の割合が低くなっている。

個別指標で見ると、「地域活動」の盛んな圏域で、「たすけあい状況」からみた人との関わり合いも高くなっている。「活動能力（JST）」の高い人の割合が多く、「生活能力（老研式）」の高い人の割合もやや多くなっている。介護保険料については「介護保険料の抑制」を望む人の割合が高い。「通いの場への参加意向」は高いが、「通いの場への参加の積極性」は低くなっている。「介護予防事業の認知度」「フェニックスネットの認知度」が高い圏域である。

「8. 越路・小国」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	男性割合	経済状態が苦しい	地域活動 たすけあい状況 活動能力（JST） 介護保険料の抑制 介護予防事業の認知度 通いの場への参加意向 フェニックスネットの認知度
4～6位	後期高齢者割合 事業対象者・要支援者割合	夫婦のみ世帯	生活能力（老研式） 健康状態 認知症相談窓口の認知度 施設介護
7～9位	前期高齢者割合 未認定者割合	1人暮らし 多世代世帯	身体能力 認知症にかかわっている人 自宅介護 現状の介護サービス水準
10～12位	女性割合	介護・介助不要	食事状況 介護サービス重視 通いの場への参加の積極性

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(9) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：和島・寺泊）

和島・寺泊は、「後期高齢者割合」「男性割合」「事業対象者・要支援者割合」が高く、「前期高齢者割合」「女性割合」「未認定者割合」が低い圏域である。

家族構成は「多世代世帯」の割合が高く、「1人暮らし」「夫婦のみ世帯」の割合が低い。生活状況は「経済状態が苦しい」と回答している人の割合がやや低い。また、「介護・介助不要」と回答している人の割合が低い。

個別指標で見ると、「地域活動」の盛んな圏域で、「通いの場への参加意向」は高いが、「通いの場への参加の積極性」となるとやや低くなる。介護が必要になったときに「自宅介護」を望む割合が高い。介護保険料については「現状の介護サービス水準」を望む人の割合がやや高い。「身体能力」の低い人、「食事状況」に難のある人、「生活能力（老研式）」の低い人、「活動能力（JST）」の低い人の割合が多くなっている。

「9. 和島・寺泊」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	後期高齢者割合 男性割合 事業対象者・要支援者割合	多世代世帯	地域活動 自宅介護 通いの場への参加意向
4～6位			認知症にかかっている人 現状の介護サービス水準 フェニックスネットの認知度
7～9位		経済状態が苦しい	たすけあい状況 健康状態 認知症相談窓口の認知度 介護サービス重視 介護予防事業の認知度 通いの場への参加の積極性
10～12位	前期高齢者割合 女性割合 未認定者割合	1人暮らし 夫婦のみ世帯 介護・介助不要	身体能力 食事状況 生活能力（老研式） 活動能力（JST） 施設介護 介護保険料の抑制

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(10) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：栃尾）

栃尾は、「事業対象者・要支援者割合」が高く、「未認定者割合」が低い圏域である。「後期高齢者割合」「男性割合」がやや高く、「前期高齢者割合」「女性割合」がやや低くなっている。

家族構成は「1人暮らし」「多世代世帯」の割合がやや高く、「夫婦のみ世帯」の割合がやや低い。生活状況は「経済状態が苦しい」と回答している人の割合が高く、「介護・介助不要」と回答している人の割合がやや低い。

個別指標でみると、「認知症にかかわっている人」が多いが、「認知症相談窓口の認知度」は低い。介護保険料については「現状の介護サービス水準」を望む人の割合が高くなっている。「通いの場への参加意向」はやや低い、「通いの場への参加の積極性」は高い。

「食事状況」に難のある人、「健康状態」があまりよくない人、「生活能力（老研式）」の低い人、「活動能力（JST）」の低い人の割合が多くなっている。

「10. 栃尾」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	事業対象者・要支援者割合	経済状態が苦しい	認知症にかかわっている人 現状の介護サービス水準 通いの場への参加の積極性
4～6位	後期高齢者割合 男性割合	1人暮らし 多世代世帯	地域活動 たすけあい状況 施設介護
7～9位	前期高齢者割合 女性割合	夫婦のみ世帯 介護・介助不要	身体能力 自宅介護 介護保険料の抑制 介護予防事業の認知度 通いの場への参加意向 フェニックスネットの認知度
10～12位	未認定者割合		食事状況 生活能力（老研式） 健康状態 認知症相談窓口の認知度 活動能力（JST） 介護サービス重視

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

(11) 長岡市全域からみた圏域の傾向（圏域：川口）

川口は、「前期高齢者割合」「未認定者割合」が高く、「後期高齢者割合」「事業対象者・要支援者割合」が低い圏域である。また、「男性割合」がやや高く、「女性割合」がやや低い。

家族構成は「多世代世帯」の割合がやや高く、「1人暮らし」「夫婦のみ世帯」の割合がやや低くなっている。生活状況は「介護・介助不要」と回答している人の割合が高く、「経済状態が苦しい」と回答している人の割合がやや低い。

個別指標でみると、「身体能力」の高い人、「生活能力（老研式）」の高い人、「活動能力（JST）」の高い人の割合が多い。「多世代世帯」が多いこともあり、「たすけあい状況」からみた人との関わり合いが高い。「認知症相談窓口の認知度」が高いが、「介護予防事業の認知度」「フェニックスネットの認知度」は低い。介護保険料については「現状の介護サービス水準」を望む人の割合が高くなっている。

「11. 川口」圏域の傾向

順位	属性	家族や生活状況	個別指標
1～3位	前期高齢者割合 未認定者割合	介護・介助不要	身体能力 生活能力（老研式） たすけあい状況 認知症相談窓口の認知度 活動能力（JST） 現状の介護サービス水準
4～6位	男性割合	多世代世帯	健康状態 認知症にかかわっている人 通いの場への参加意向
7～9位	女性割合	1人暮らし 夫婦のみ世帯 経済状態が苦しい	食事状況 地域活動 自宅介護 施設介護
10～12位	後期高齢者割合 事業対象者・要支援者割合		介護サービス重視 介護保険料の抑制 介護予防事業の認知度 通いの場への参加の積極性 フェニックスネットの認知度

（注）順位は長岡市全域も含むものである。

（文責：長岡大学 鯉江康正）